KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

ES-9DVD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5366-00 00　MA　(J)　KW　0306

はじめに

本機の特長

DVD プレーヤー搭載コンパクトハイファイコンポーネントシステム

DVD ビデオ、ビデオ CD、CD の再生が可能なマルチプレーヤーと MD レコーダーを搭載。DVD ビデオソフトを再生し MD に録音も可能です。(DVD ビデオ、ビデオ CD、MP3ファイル、WMA ファイルを MD へ録音するときは、アナログ録音になります。)

MP3/WMA 再生機能

MP3/WMA 形式の音声圧縮フォーマットで記録された音楽ファイルの再生ができます。

JPEG 再生機能

JPEG形式で記録された画像ファイルの再生ができます。画像を表示したままMP3/WMAファイルを楽しむこともできます。

MD ロングプレイモード対応

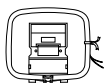
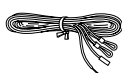
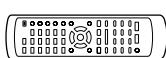
MDLP（ATRAC 3）による長時間録音・再生に対応しています。標準の２倍（約 160 分*：LP2）または４倍（約 320 分*：LP4）のデジタルステレオ長時間録音・再生ができます。
* 80 分ディスクを使用した場合

MD グループ管理機能

MD の曲をアルバム、アーティスト別などのグループにまとめて、それぞれのグループにタイトルをつけたり、グループ単位での再生や検索ができます。

CD → MD High（ハイ） Speed（スピード）（4 倍速）録音機能

CD から MD へ簡単・短時間で録音できます。
（音楽 CD 以外のディスクは、アナログ録音のため通常速度の録音になります。）

付属品

本書で使用しているディスク記号について

ディスクにより、使える機能が異なります。本書では次の記号を使い、その機能が使えるディスクを表しています。

DVD ：DVD ビデオで楽しめる機能です。
ビデオCD ：ビデオCDで楽しめる機能です。
JPEG ：JPEGファイルで楽しめる機能です。
CD ：音楽CD（CD-R/-RW）で楽しめる機能です。
MP3/WMA ：MP3/WMAファイルで楽しめる機能です。

目次

⚠このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

お使いになる前に

準備する

基本的な操作

ラジオ放送を聞く

DVD/CD を操作する

サラウンドを楽しむ

MD を操作する

タイマーを使う

DVD/CD を設定する

ご参考に

このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります)

警告

交流100ボルトの電圧で使用する

この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

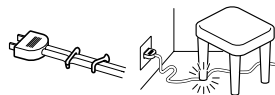
水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

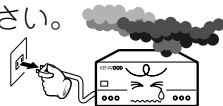
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

注意

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

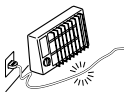
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

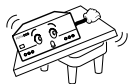
レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

接続のしかた

接続するときのご注意

- 接続が終了するまで、電源コードのプラグはコンセントに差し込まないでください。
- 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出なくなったり、雑音を発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しするときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな？と思ったら" を参照してマイコンをリセットしてください。➡113

スピーカーの接続

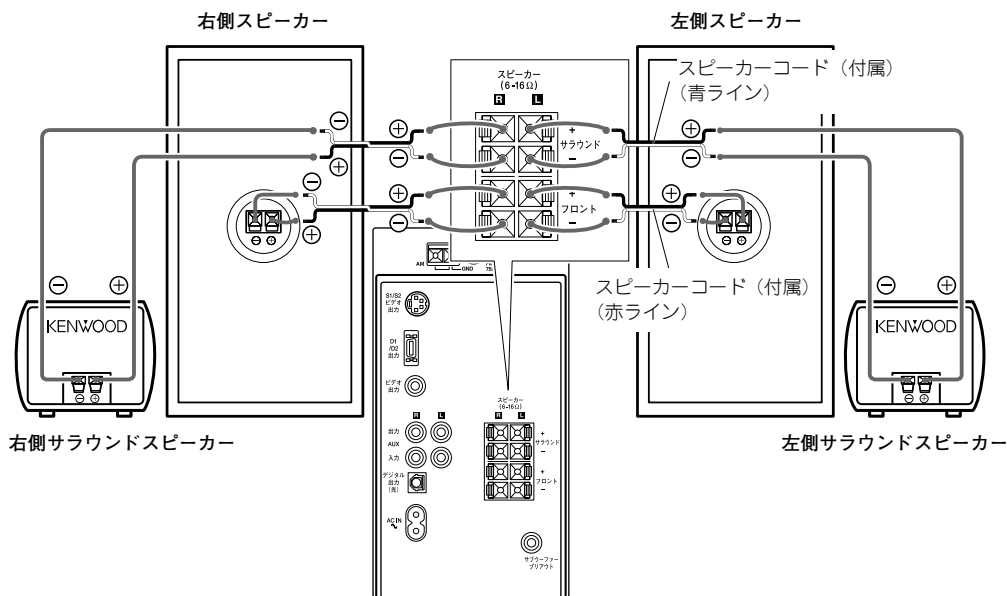
右側スピーカー

左側スピーカー

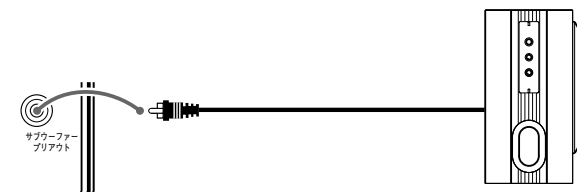
スピーカーコード（付属）
（青ライン）

スピーカーコード（付属）
（赤ライン）

右側サラウンドスピーカー

左側サラウンドスピーカー

サブウーファーとの接続

別売りのサブウーファーを接続します。
重低音を力強く再生します。

アクティブ・サブウーファー
（専用アンプ内蔵サブウーファー）（SW-V7など）

サブウーファーのオートスタンバイ機能 * について

接続したサブウーファーのオートスタンバイ機能をオンで使用しているとき、音や振動などによってサブウーファーだけ電源がオンになることがあります。このような場合は、サブウーファーのオートスタンバイ機能を使わずに、手動で電源をオフにしてください。
また、旅行などで長期間サブウーファーを使用しないときは、サブウーファーの電源を手動でオフにすることをお勧めします。

* オートスタンバイ機能とは、電源のオン／オフを信号の入力状態によって自動的に行う機能です。オートスタンバイ機能をオンにすると、サブウーファーに信号入力があると自動的に電源をオンにし、一定時間信号の入力がないと自動的に電源をオフにします。

マルチチャンネルサラウンド音声について

本機では、DVDビデオに収録されているドルビーデジタルの音声は、内蔵のデコーダーでダウンミックスして本機のスピーカーから音を出しますが、再生するディスクによっては、AUX出力端子、デジタル出力端子、PHONES（ホンズ）端子からダウンミックスされた信号ではなく、フロント（L/R）チャンネルのみを出力することがあります。
本機のスピーカーからの音は、V.F.S.（バーチャル・フロント・サラウンド）機能を使ってサラウンド効果をお楽しみいただけます。→54

スピーカーを接続するときのご注意

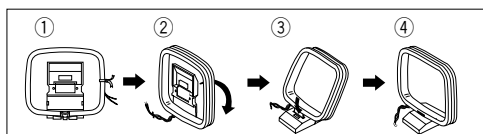
- **スピーカーコードの "＋" と "－" は絶対にショートさせないでください。**
- **極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。**
- **スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、テレビやパソコンから少し離して置いてください。**

アンテナの接続

付属アンテナの接続

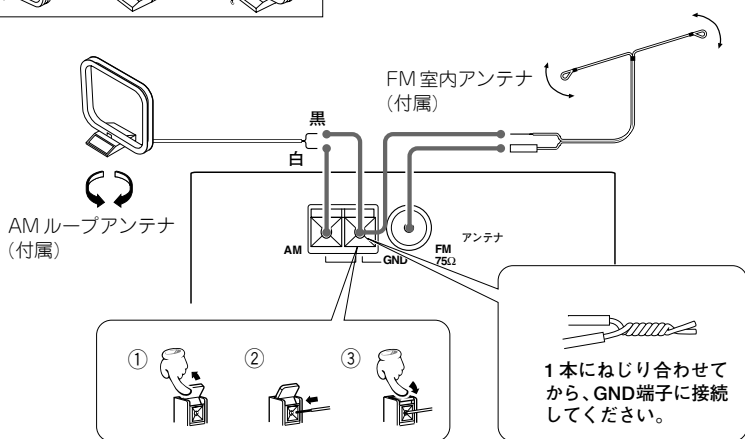
AM ループアンテナ

付属のAMループアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

アンテナの組み立て方

FM 室内アンテナ

付属のアンテナは一時的に使用し、安定した受信のためには屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。付属のFM室内アンテナは、端子に接続し受信状態の良い位置で固定します。

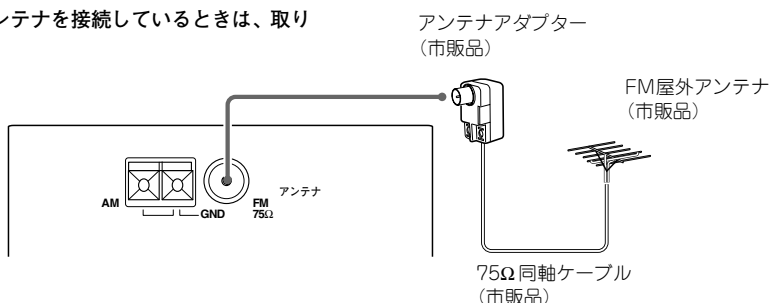
POINT

屋外アンテナ（市販品）を接続するときは、FM室内アンテナは外してください。

FM 屋外アンテナ（市販品）との接続

75Ω同軸ケーブル（市販品）を使って屋内へ引込み、**"FM75Ω"** 端子に接続します。

付属のFM室内アンテナを接続しているときは、取り外してください。

⚠注意　屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

テレビとの接続

テレビと接続するときのご注意

本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して接続した場合やビデオ内蔵型テレビでは、コピー防止機能が働き、再生のときに画像が乱れることがあります。

プログレッシブスキャン映像出力対応

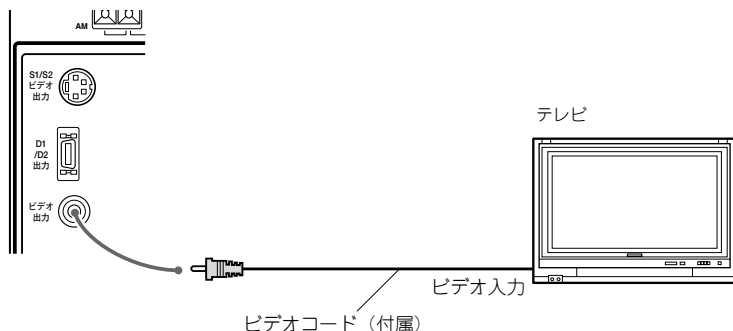
本機は、プログレッシブスキャンの映像出力に対応しています。本機のD端子とプログレッシブスキャン対応テレビのD2 ～ D4 端子を接続し、本機のスキャンモードを "PROGRESSIVE"(プログレッシブ) に設定すると、より高密度の映像でお楽しみいただけます。

本機は、次の端子が付いているテレビと接続できます。

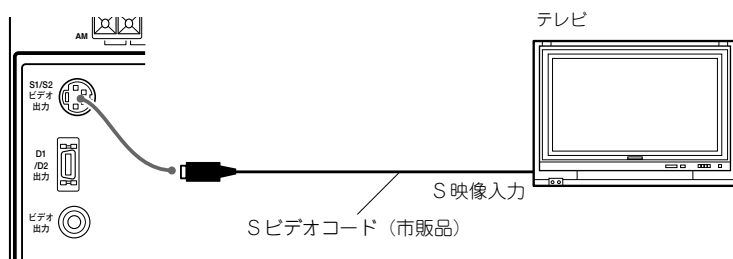
- **ビデオ入力端子が付いているテレビ**
  付属のビデオコードを使って接続します。→13
- **S ビデオ入力端子が付いているテレビ**
  市販のSビデオコードを使って接続します。→13
- **D 端子が付いているテレビ**
  市販のD端子用ビデオコードを使って接続します。→14

ビデオ入力端子が付いているテレビとの接続

付属のビデオコードを使って、本機の **"ビデオ出力"** 端子と接続します。

- 接続するテレビ（4 : 3または16 : 9）に応じて、DVD/CD設定の **"TV アスペクト"** を設定してください。→101

S ビデオ入力端子が付いているテレビとの接続

市販のＳビデオコードを使って、本機の **"S1/S2 ビデオ出力"** 端子と接続します。
ビデオ入力端子よりもさらに鮮明な映像でお楽しみいただけます。

- 接続するテレビ（4 : 3または16 : 9）に応じて、DVD/CD設定の **"TV アスペクト"** を設定してください。→101
- 接続するテレビに応じて、Sビデオ信号を切り換えてください。→106

D 端子が付いているテレビとの接続

市販のＤ端子用ビデオコードを使って、本機の **"D1/D2 出力 "** 端子とテレビのＤ端子を接続します。
プログレッシブスキャン対応テレビのD2～D4 端子に接続すると、チラツキの少ない高密度の映像でお楽しみいただけます。

- 本機の他の映像出力は同時に接続しないでください。
- 接続するテレビ（4：3または16：9）に応じて、DVD/CD設定の **"TV アスペクト"** を設定してください。→101

本機の "D1/D2 出力 " 端子について

S映像よりも画質のよいコンポーネント映像信号（色同士の干渉を避けるため3本の輝度・色差信号に分けたもの）は、従来3本のコードで接続していました。D端子はこのコンポーネント映像信号を1本のコードで接続できるようにしています。
また、D 端子では、映像信号と同時にテレビの制御信号（走査線数やアスペクト比の切り替え）も付加されています。
D 端子には、走査線数と走査のしかたで D1 ～ D5 までの規格があります。
本機の "D1/D2 出力 " 端子は、D2 規格の走査線数 525 本、インターレース（525i）／プログレッシブ（525p）に対応しています。

インターレースとプログレッシブ

テレビの画面走査方式です。テレビに映像を映し出すとき、画面走査を画面上から一つ飛びに走査線を映し出す方式をインターレースといい、画面上から順番に走査線を映し出す方式をプログレッシブと言います。
プログレッシブの方が、インターレースよりもチラつきの少ない映像になります。

インターレースとプログレッシブを切り換える

本機の "D1/D2 出力 " 端子とプログレッシブ対応テレビの D2 ～ D4 端子に接続したときは、本機からプログレッシブ方式の映像信号が送られます（"PROGRESSIVE" 表示が点灯）。
ただし、再生する DVD ビデオソフトなどによっては、不自然な映像になることがあります。このようなときは、インターレースに切り換えてください。

切り換えかた

リモコンの PROGRESSIVE/INTERLACE キーを押して "PROGRESSIVE" または "INTERLACE" を選ぶ

- キーを押すたびに文字情報表示部に **"PROGRESSIVE"** または **"INTERLACE"** と表示されます。

"PROGRESSIVE" 表示について

本機からプログレッシブ方式の映像信号が出力されているとき点灯し、インターレース方式の信号が出力されているとき消灯します。

- DVD ディスクによっては、強制的にインターレース方式の映像信号出力を要求するシーンが収録されているものがあります。このようなシーンでは、本機の映像信号出力がプログレッシブに設定されていても、ディスクの要求にしたがってインターレース方式の映像信号が出力され、**"PROGRESSIVE"** 表示が消灯します。

外部ソース（音源）機器との接続

接続するソース（音源）機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

デジタル機器の接続

市販の光ファイバーケーブル（角形光コネクタープラグ付き）を使って、本機背面の **"デジタル出力（光）"** 端子とデジタル機器を接続します。

POINT

デジタル出力端子からは、本機の音源（ソース）DVD/CD からのデジタル信号のみを出力します。MD からの音声は出力しません。

"デジタル出力（光）" 端子には、DVD サラウンド音声を楽しむために、サラウンド・デコーダー内蔵AV レシーバーなどを接続します。また、デジタル録音機器を接続すると、本機からのビデオCD/CD の音声信号を、接続した機器で録音することができます。

AV レシーバーなどのサラウンド・デコーダー内蔵機器と接続したとき

SET UP MENU（セット アップ メニュー）の **"SOUND（サウンド）の設定"** →103 で次のように設定してください。

- **ドルビーデジタル 5.1ch デコーダー内蔵の機器のとき**
  "デジタル出力 DOLBY（ドルビー） DIGITAL（デジタル）" を **"ビットストリーム"**（初期設定値）にする
- **DTS デコーダー内蔵の機器のとき**
  "デジタル出力 DTS" を **"ビットストリーム"**（初期設定値）にする
- **MPEG デコーダー内蔵の機器のとき**
  "デジタル出力 MPEG" を **"ビットストリーム"**（初期設定値）にする

CD レコーダーや MD レコーダーなどのデジタル録音機器と接続したとき

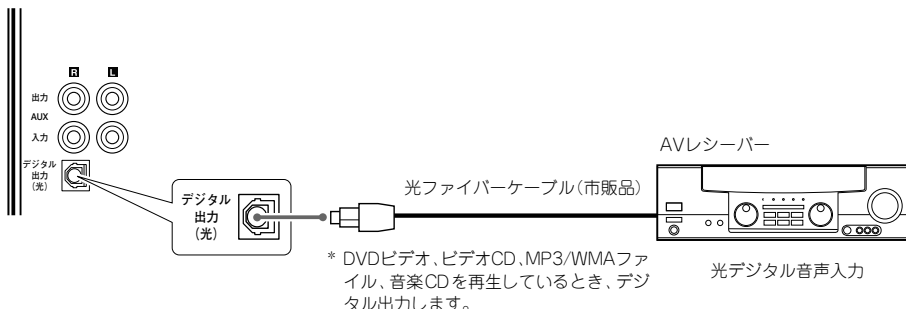
SET UP MENU（セット アップ メニュー）の **"SOUND（サウンド）の設定"** →103 で次のように設定してください。

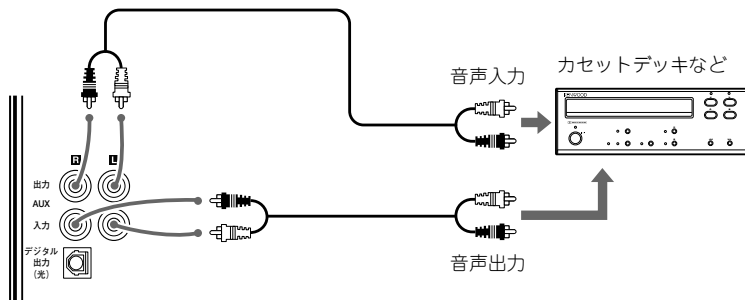
- **"デジタル出力 DOLBY（ドルビー） DIGITAL（デジタル）"** と **"デジタル出力 MPEG"** を **"PCM"** にする
  ステレオ 2ch の PCM 音声に変換して出力します。

接続した機器の取扱説明書もご覧ください。

接続時のご注意

- **光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり束ねたりしないでください。**
- **デジタル出力（光）端子には、ゴミ・ホコリからの保護のためにドアカバーが付いています。プラグ側の向きと端子側の向きを確認して、光ファイバーケーブルを差し込みます。ドアカバーが内側に開いて、プラグが端子に差し込まれます。**

準備する

アナログ機器の接続

市販のピンコードを使って、本機背面のAUX入力／出力端子とカセットデッキなどのアナログ機器を接続します。

本機からのアナログ音声出力信号について

本機は、ドルビーデジタル5.1チャンネルなどのマルチチャンネルサラウンドの音声を、ダウンミックスした2チャンネルの信号でAUX出力端子およびPHONES（ホンズ）端子から出力します。ただし、再生するディスクによっては、フロント（L/R）チャンネルのみを出力する場合があります。

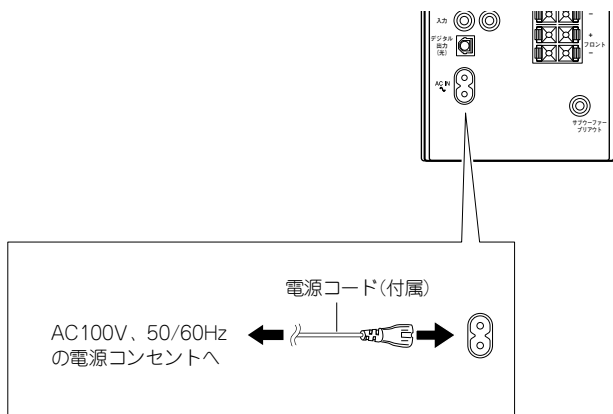
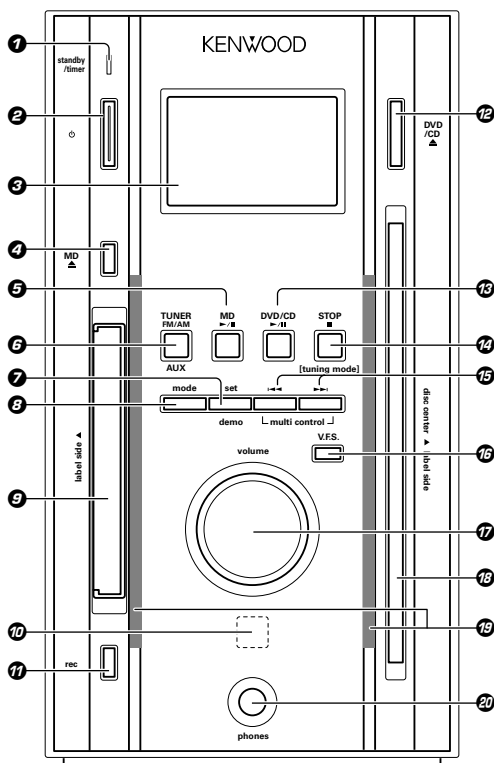
DTSに関する注意事項

DTSでエンコードされたソフトウエアを再生すると雑音が出ることがあります。また本機のAUX出力が他のアンプ又はレシーバーに接続されている場合、これらの機器からも雑音が出ることがありますのでご注意ください。DTSデジタルサラウンド再生をお楽しみになるには、本機の"デジタル出力(光)"端子に外部の5.1チャンネルDTSデジタルサラウンドデコーダーシステムを接続してください。

電源の接続

すべての接続が終了したら、付属の電源コードを、本体およびコンセントに奥まで確実に差し込んでください。

各部のなまえ

本体部

❶	standby/timer インジケーター	→21
❷	⏻（電源）キー	→21
❸	表示部	→20
❹	MD ⏏（取り出し）キー	→57
❺	MD ▶/❚❚ キー	→56
❻	TUNER FM/AM キー	→27
	AUX キー	→26
❼	set キー	（注1）参照
	demo キー	→21
❽	mode キー	（注1）参照
❾	MD 挿入口	→56
❿	リモコン受光部	→19
⓫	rec キー	→70
⓬	DVD/CD ⏏（取り出し）キー	→35
⓭	DVD/CD ▶/❚❚ キー	→34
⓮	STOP ■ キー	→35，→57
	tuning mode キー	→29
⓯	⏮ ⏭ キー	→29，→35，→57，→78 〜 →90
	multi control キー	（注1）参照
⓰	V.F.S. キー	→55
⓱	volume つまみ	→23
⓲	ディスク挿入口	→34
⓳	ディスク挿入口照明	→25
⓴	phones 端子	→17

（注1）mode キー、multi control キー、set キー
いろいろなモード設定時にこの組み合わせで使います。

→22，→27，→55，→68，→69，→72 〜 →74，→94 〜 →98

ヘッドホンで聞く

① ヘッドホンのプラグをphones端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

② volume つまみで音量を調節する

スタンバイ状態について

本機の standby/timer インジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

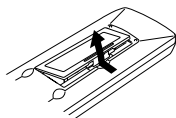
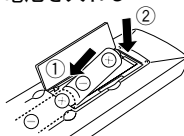
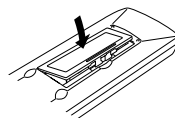
リモコン

❶ TIMER（タイマー）キー → 98
❷ SLEEP（スリープ）キー → 93
❸ 数字、文字入力キー
→ 30 , → 36 , → 57 , → 61 , → 91
❹ PROGRESSIVE/INTERLACE（プログレッシブ/インターレース）キー → 14
❺ DISPLAY（ディスプレイ）キー → 27 , → 39 , → 56
CHARAC.（キャラクター）キー → 91
❻ TOP MENU（トップ メニュー） → 45
GROUP SEARCH（グループ サーチ） → 59
JPEG LIST（リスト）キー → 37
❼ RETURN（リターン）キー → 51 , → 53
❽ DVD/CD ►/❚❚ キー → 34
❾ MD ►/❚❚ キー → 56
❿ REC（レコーディング）キー → 70
⓫ P.CALL（プリセットコール）キー → 29
|◄◄ ►►| キー → 35 , → 57 , → 78 ～ → 90
⓬ SET UP（セット アップ）キー → 100
⓭ A ► B キー → 44
⓮ V.F.S. キー → 55
⓯ BYPASS（バイパス）キー → 24
⓰ MUTE（ミュート）キー → 23
⓱ POWER ⏻（電源）（パワー）キー → 21
⓲ TITLE INPUT（タイトル インプット）キー → 90
⓳ MD EDIT（エディット）キー → 67 , → 78
⓴ P. MODE（プレイモード）キー → 40 , → 61
㉑ CLEAR/DEL.（クリアー デリート）キー → 41 , → 62 , → 91
㉒ TIME（タイム）キー → 39 , → 58
SPACE（スペース）キー → 91
㉓ SET（セット）キー → 40 , → 61 , → 78 , → 90
㉔ MENU（メニュー）キー → 45
P.B.C. キー → 53
DIRECTORY（ディレクトリー）キー → 36 , → 38
㉕ カーソル（◄ ► ▲ ▼）キー
→ 36 , → 37 , → 45 , → 59 , → 100
㉖ ENTER（エンター）キー → 36 , → 37 , → 45 , → 59 , → 100
㉗ ON SCREEN（オン スクリーン）キー → 46
㉘ AUX キー → 26
㉙ TUNER/BAND（チューナー/バンド）キー → 27
㉚ O.T.E.（ワンタッチエディット）キー → 75
㉛ STOP ■（ストップ）キー → 35 , → 57
AUTO/MONO（オート モノラル）キー → 29
㉜ TUNING（チューニング）キー → 29
◄◄ ►► キー → 35 , → 38 , → 57 , → 91
㉝ RANDOM（ランダム）キー → 42 , → 63
㉞ REPEAT（リピート）キー → 43 , → 64
㉟ TONE（トーン）キー → 24
㊱ SOUND（サウンド）キー → 24
㊲ VOLUME（ボリューム）▲ ▼ キー → 23

リモコンの準備

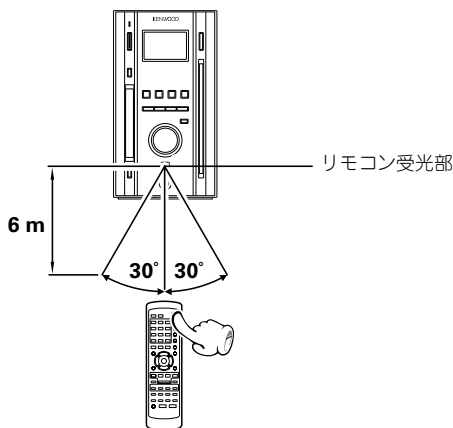
乾電池の入れかた

付属の乾電池を入れます。

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

● 単３乾電池２個を極性マークに従って入れる。

POINT 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。

リモコンの操作範囲

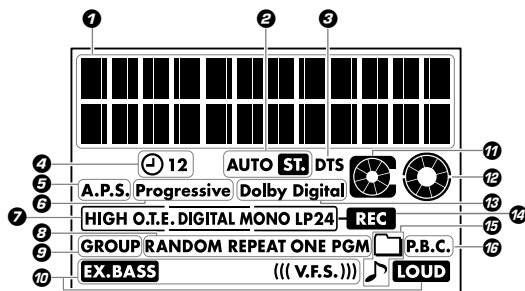
リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作します。

POINT

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約１秒以上の間隔をあけて確実に押してください。
● 操作できる距離が短くなったら、２個とも新しい電池と交換してください。
● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部

❶ 文字情報表示部

❷ ラジオ受信関連表示

- AUTO（オート） → 29
- ST.（ステレオ） → 29

❸ DTS 表示

DTS音声を再生しているとき点灯します。ただし本機から音は出ません。

❹ タイマー表示 → 98

❺ A.P.S.（オートパワーセーブ）表示 → 98

❻ Progressive（プログレッシブ）表示 → 14

❼ MD 録音関連表示

- HIGH（ハイ）、O.T.E.（ワンタッチエディット） → 72 〜 → 75
- DIGITAL（デジタル） → 66
- MONO（モノラル）、LP2、4 → 57 , → 65

❽ 再生モード表示

- RANDOM（ランダム） → 42 , → 63
- REPEAT（リピート）、ONE（ワン） → 43 , → 64
- PGM（プログラム） → 40 , → 61

❾ GROUP（グループ）表示 → 59

❿ 音質関連表示

- EX. BASS（エクストラバス） → 24
- V.F.S. → 55
- LOUD（ラウドネス） → 24

⓫ MD 表示 → 56

MDが挿入されているとき点灯します。

⓬ DISC（ディスク）表示 → 34

DVD/CD が挿入されているとき点灯します。

⓭ Dolby Digital（ドルビー デジタル）表示

Dolby Digital（ドルビー デジタル）音声を再生しているとき点灯します。

⓮ 録音表示 → 70

⓯ MP3/WMA、JPEG 関連表示

- → 36
- ♪ → 36

⓰ P.B.C. 表示 → 53

電源のオン／オフ（スタンバイ）

電源をオンにする

本体の ⏻(電源)またはリモコンのPOWER ⏻(電源)キーを押す

● 本体の standby/timer インジケーターが消灯します。

ワンタッチオペレーション機能を使う

電源がオフ（スタンバイ）のとき、次のキーを押しても電源をオンにできます。

リモコン	本体	動作
DVD/CD ▶/II	DVD/CD ▶/II	ディスクが入っていると、再生が始まります。
MD ▶/II	MD ▶/II	MD が入っていると、再生が始まります。
TUNER/BAND	* TUNER FM/AM AUX	前回受信していた放送局を聞くことができます。
AUX		接続した機器の音を聞くことができます。

＊ 前回受信していた放送局または接続した機器の音を聞くことができます。

デモンストレーション表示について

本機には、デモンストレーション表示機能があります。電源がオンのとき、ディスクとMDが停止中で本体またはリモコンからのキー操作が約5秒間ないと、表示部にデモンストレーション表示が行われます。
デモンストレーション表示を解除するには、デモンストレーション表示中に **demo** キーを押します。

本体

set
demo

POINT 電源がオンのとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的にデモンストレーション表示がオンになります。

電源をオフ（スタンバイ）にする

本体の ⏻(電源)またはリモコンのPOWER ⏻(電源)キーを押す

● 本体の standby/timer インジケーターが点灯します。

基本的な操作

時刻合わせ

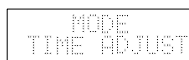
本機には、12時間または24時間表示の時計機能があります。本機を使う前に必ず正確な時刻に合わせてください。時刻合わせの操作をしないと、タイマー機能を使うことができません。

停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、もう一度時刻合わせをやり直してください。

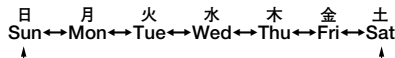
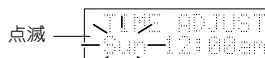
電源をオンにする → 21

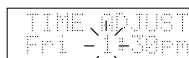
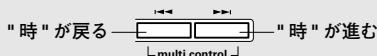
本体のみ

❶ **mode キーを押す**

❷ **multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"TIME ADJUST"を選び、setキーを押す**

❸ **multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"12 HOUR"または"24 HOUR"を選び、setキーを押す**

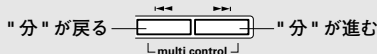
12 HOUR：時刻を 12 時間表示にするとき選びます。
24 HOUR：時刻を 24 時間表示にするとき選びます。

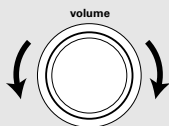
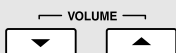
❹ **multi controlキー（⏮、⏭）を押して、曜日を選び、setキーを押す**

❺ **multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"時"を合わせる**

金曜日の午後 1 時 30 分に合わせる例

❻ **setキーを押す**

- setキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

❼ **multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"分"を合わせる**

金曜日の午後 1 時 30 分に合わせる例

❽ **setキーを押す**

- 時刻を間違えたときは、手順❶からやり直してください。
- 時報と同時にsetキーを押すと、正確に時刻を設定することができます。
- 電源がオフ（スタンバイ）のとき stop■ キーを押すと、5 秒間、曜日と時刻を表示することができます。

音量を調整する

右に回す：音量が上がります。
左に回す：音量が下がります。

VOLUME▲：音量が上がります。
VOLUME▼：音量が下がります。

- 0～39, MAX の範囲で調節できます。
- 音量を調整すると、表示部に音量が数秒間表示されます。

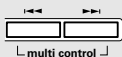
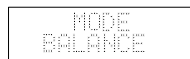
一時的に音を消す

リモコンの MUTE キーを押す

MUTE

- 文字情報表示部で が点滅し、音が消えます。
- もう一度 **MUTE** キーを押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除され音が出ます。

バランスを調整する

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

中央値　カーソル

⏭：右(R)チャンネル側にカーソルを調整します。
⏮：左(L)チャンネル側にカーソルを調整します。

低音と高音を補正する（SOUND機能）

リモコンのみ

SOUNDキーを押す

SOUND

押すたびに切り換わります。

"EX.BASS"（EX.BASS点灯）：
音量にかかわらず低音部を強調します。

"LOUDNESS"（LOUD点灯）：
音量に応じて低音部と高音部を強調します。小音量時に有効です。

SOUND機能解除：
音の補正を解除します。

音質を調整する（TONE機能）

低音部（BASS）と高音部（TREBLE）を調整します。

リモコンのみ

❶ TONEキーを押す

TONE

- V.F.S.機能が働いているときは、TONE機能は働きません。→55
- "BASS"が表示されます。

❷ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、低音のレベルを調整する

P.CALL

- "－8"～"＋8"の範囲で調整できます。

❸ "BASS"を表示中にTONEキーを押す

TONE

- "TREBLE"が表示されます。

❹ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、高音のレベルを調整する

P.CALL

- "－8"～"＋8"の範囲で調整できます。

❺ TONEキーを押す

TONE

- 音質を調整する前の表示に戻ります。
- TONEキーを押さずに、20秒以上キー操作をしないと、音質を調整する前の表示に戻ります。

音源（ソース）の音をダイレクトな音で聞く（BYPASS機能）

BYPASS機能をオンにすると、SOUND機能、TONE機能、V.F.S.機能の音質調整回路を通さずに音源（ソース）からのダイレクトな音を聞くことができます。

リモコンのみ

BYPASSキーを押す

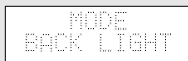
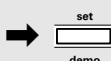
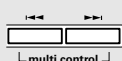
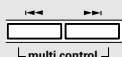
BYPASS

バックライトを調整する

表示部のバックライトを調整します。

本体のみ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"BACK LIGHT"を選び、setキーを押す

❸ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"HIGH"または"LOW"を選ぶ

"HIGH"　：バックライトを明るくします。

"LOW"　：バックライトを暗くします。

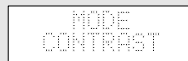
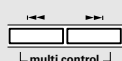
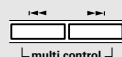
❹ setキーを押す

コントラストを調整する

表示部の濃さを調整します。

本体のみ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"CONTRAST"を選び、setキーを押す

❸ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、表示部の濃さを調整する

- "1"～"10"の範囲で調整できます。

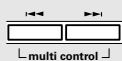
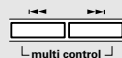
❹ setキーを押す

ディスク挿入口照明（サイドライト）を設定する

ディスク挿入口照明のオン、オフを設定します。

本体のみ

❶ modeキーを押す

❷ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"SIDE LIGHT"を選び、setキーを押す

❸ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"ON"または"OFF"を選ぶ

"ON"　：ディスク挿入口照明をつけます。

"OFF"　：ディスク挿入口照明を消します。

❹ setキーを押す

基本的な操作

外部機器ソースを聞く

本機に接続された外部機器の音を聞きます。

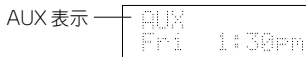
❶ AUXキーを押して、"AUX"を選ぶ

本体

TUNER FM/AM
AUX

リモコン

AUX

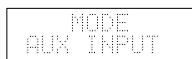
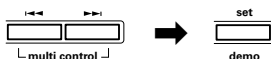
❷ 外部機器の再生を始める

AUX 入力レベルを調整する

本機の AUX 入力端子に接続された外部機器からの入力レベルを調整します。
CD または MD 等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整します。
本体で操作します。

❶ AUXキーを押して、"AUX"を選ぶ

❷ modeキーを押す

❸ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"AUX INPUT"を選び、setキーを押す

MODE
AUX INPUT

❹ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、入力レベルを調整する

- "+3" ～ "－3" の範囲で調整できます。

❺ setキーを押す

POINT

AUX 入力レベルを調整すると、MD での録音レベルも変化します。

ラジオ放送を聞く

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）

お住まいの都道府県名を選ぶだけで、自動的に受信できる放送局が記憶されます。

本体のみ

❶ TUNER FM/AM キーを押して入力切換をチューナー（FMまたはAM）にする

押すたびに切り換わります。

- FM
- AM
- AUX

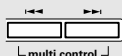
❷ mode キーを押す

❸ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"ケンメイセッテイ"を選び、setキーを押す

- "ミセッテイ？"と表示されます。
- すでにオートプリセットされているときは、都道府県名が表示されます。

❹ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、お住まいの都道府県名を選ぶ

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"エリア別FM放送局名自動表示リスト" →28 に従ってオートプリセットされます。

❺ setキーを押す

- "AUTO PRESET" 表示が点滅して順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- "エリア別FM放送局名自動表示リスト"以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および 文字情報表示部に が点灯していない場合は、放送局名は表示されません。
- オートプリセットが終ると、最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- すでにプリセットされている局は書き換えられます。

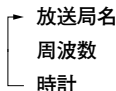
POINT　オートプリセットは、FMおよびAMの放送局をあわせて最大40局まで登録します。放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に載っているFM放送局のみに対応しています。→28

表示部の切り換えについて

オートプリセットしたFM放送局の表示を切り換えます。

リモコンのみ

オートプリセットしたFM放送局を受信中にDISPLAYキーを押す

押すたびに切り換わります。

- 放送局名
- 周波数
- 時計

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、set キーを押して"エリア別FM放送局名自動表示リスト"にある別の放送局名にかえることができます。押すたびに切り換わります。

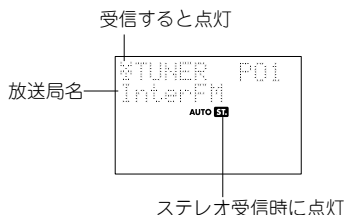
エリア別FM放送局名自動表示リスト

2003年4月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエムアキタ
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FM GUNMA
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM NIIGATA
	長野エフエム放送	FM NAGANO
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	岐阜FM放送	ギフFM
	新潟県民エフエム	FmPort.com
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	e - radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	Passion Wave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	AFNオキナワ	AFNオキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させた放送局を呼び出す（プリセットコール）

❶ TUNER（チューナー）キーを押して音源（ソース）をラジオにする

❷ ⏮または⏭を押して、記憶させた放送局を呼び出す（プリセットコール）

⏭を押すと：

1 → 2 → 3 →…38 → 39 → 40 → 1 →…

⏮を押すと：

40 → 39 → 38 →…3 → 2 → 1 → 40 →…

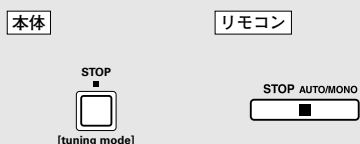
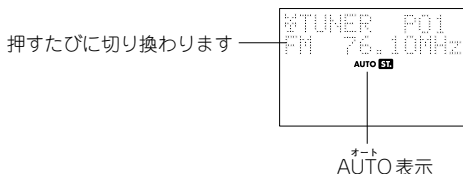
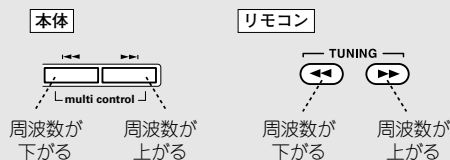
- リモコンの数字キーを押しても放送局を呼び出すことができます。

数字キーを押す順序は

12 局目なら .... +10、2
20 局目なら .... +10、+10、0

記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）

❶ TUNER（チューナー）キーを押して音源（ソース）をラジオにし、放送バンド（FM または AM）を選ぶ

❷ tuning mode（チューニング モード）またはAUTO/MONO（オート/モノラル）キーを押して、オート選局とマニュアル選局を切り換える

押すたびに切り換わります。

オート選局　：表示部の **"AUTO"**（オート）が点灯します。電波の状態が良いときに選びます。

マニュアル選局：表示部の **"AUTO"**（オート）は点灯しません。電波が弱く雑音が多いときに選びます。マニュアル受信のとき、FM放送はモノラル受信になります。

- 通常は AUTO（オート）（オート選局、ステレオ受信）を選んでください。

❸ ⏮ ⏭（本体）または◀◀ ▶▶（リモコン）キーを押して、選局をする

オート選局のとき：

キーを押すごとに次々に受信します。

マニュアル選局のとき：

希望する放送局を受信するまで押します。

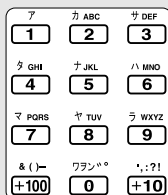
- 本体で操作するときは、文字表示部に **"AUTO"**（オート）または **"MANUAL"**（マニュアル）が表示されている間に⏮ ⏭キーを押してください。**"AUTO"** または **"MANUAL"** が消えたときは、もう一度 **tuning mode**（チューニング モード）キーを押してから⏮ ⏭キーを押してください。

放送局を選んで記憶させる（マニュアルプリセット）

リモコンのみ

❶ "記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）"→29 の手順を行なって、記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中に ENTER キーを押す

❸ 数字キーで1～40 までのプリセット番号を選ぶ

数字キーを押す順序は

12 局目なら .... +10、2

20 局目なら .... +10、+10、0

❹ ENTER キーを押す

- 放送局が記憶されます。
- プリセットを続けるときは、手順❶～❹を繰り返します。
- 同じプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい放送局に変更されます。

記憶させた放送局を削除する

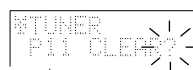
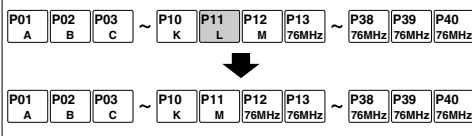
リモコンのみ

❶ TUNER キーを押して音源（ソース）をラジオにする

TUNER
BAND

❷ ⏮または⏭を押して、削除したい放送局を呼び出す（プリセットコール）

❸ CLEAR/DEL. キーを押す

- 削除したプリセット番号以降のプリセット放送局は前に繰り上がります。
- 繰り上がって空いたスペースには、自動的に受信可能な下限周波数が入ります。（76.00MHz）

削除したいプリセット局

- プリセット番号40にプリセットした放送局は削除できません。

❹ ENTER キーを押す

再生できるディスクについて

再生できるディスクの方式と種類

再生できるディスク	DVDビデオ	ビデオCD	CD
ロゴマーク	DVD VIDEO	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT / COMPACT disc DIGITAL AUDIO

POINT

- 再生できるCD-R/-RWは、音楽CD、MP3/WMA、JPEG、ビデオCDのデータ形式で記録され、セッションがクローズまたはファイナライズされたディスクです。ただし、ディスクの特性や記録状態などにより、本機で再生できない場合があります。
- 再生できるDVD-R/-RW、DVD+R/+RWは、"ビデオモード"で記録されファイナライズされたディスクです。ただし、ディスクの特性や記録状態などにより、本機で再生できない場合があります。
- 上記のロゴマークが入ったものなど、規格に準拠したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。

ディスクや本機の状態による操作制限

DVDビデオ や ビデオCD は、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがあります。また本機の状態により操作が制限される場合もあります。
本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。
操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン

再生できないディスク

SACD、DVDオーディオ、SVCD、VSD、DVD-RAM、DVD-RW("VRモード"で記録されたディスク)
CD-R/-RW(音楽CD/ビデオCD/MP3/WMAフォーマット以外のデータ形式で記録されたディスク、セッションがクローズまたはファイナライズされていないディスク)
CD-ROMおよびDVD-ROM(PCデータ等本機で扱えないデータ形式で記録されたもの)
- 次のディスクは音声部分のみ再生できます：**CDV、CD-G、CD-EG、CD-EXTRA**

DVDディスクに表示されている各種のアイコンについて DVD

ALL 再生可能なリージョンコード（地域番号）を表します。

8 オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大8ヵ国語)

32 サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大32ヵ国語)

9 アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。(最大9アングル)

16:9 LB 選ぶことのできるアスペクト比を示します。LBはレターボックス、PSはパン＆スキャンを表します。(このアイコンを例にすると、16：9の映像からレターボックスに変換できることを表しています)

DVD/CDを操作する

DVDビデオのリージョンコードとテレビ方式について DVD

本機では、NTSCのテレビ方式で収録され、リージョンコードに ALL または 2 が含まれているDVDビデオの再生ができます。ジャケットに"NTSC日本国内向け"と記載されていないDVDビデオは、リージョンコード以外に、記録されている映像信号のテレビ方式にも注意ください。接続するテレビのテレビ方式と、DVDビデオに記録されている映像信号（本機から出力される映像信号）のテレビ方式が異なると、乱れた映像になります。日本国内のテレビは、NTSCテレビ方式です。NTSCテレビ方式で収録されたDVDビデオを使用ください。

テレビ方式について

テレビ方式には、日本やアメリカなどで採用されているNTSC方式とヨーロッパなどで採用されているPAL方式、フランス、ロシア、東欧などで採用されているSECAM方式があります。

リージョンコードについて

DVDビデオには、国ごとに割り当てられたリージョンコード（地域番号）があります。本機のリージョンコードは 2 です。ディスクのジャケットに ALL または 2 を含みリージョンコードが表示されているDVDビデオが再生できます。

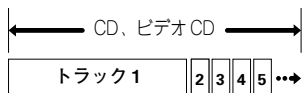
ビデオCDのテレビ方式について ビデオCD

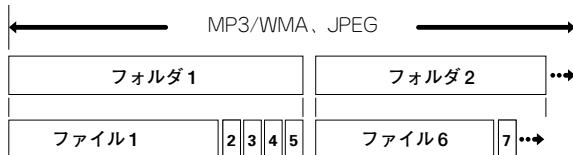
NTSC方式で収録されているビデオCDを再生します。PAL方式などNTSC方式以外で収録されているビデオCDを、日本国内向け一般家庭用テレビ（NTSC方式）で見ると、乱れた映像になります。

ディスクの構成 DVD ビデオCD CD MP3/WMA JPEG

DVDビデオのディスクの構成

タイトルは映像や曲の一番大きい単位をいいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。

CD、ビデオCDのディスクの構成

CD、ビデオCDの場合は、トラックという呼び方で区切られています。音楽CDなどの場合、1曲目はトラック1になります。

MP3/WMA、JPEGが収録されているディスクの構成

フォルダはディスクに記録されている一番大きい単位をいいます。
1つのフォルダが1つ以上のファイルで構成されている場合もありますが、ファイルがフォルダに入っておらず、直接ディスクに記録されているものもあります。
また、フォルダの中にフォルダがあるといった階層構造になっているディスクもあります。

本機で再生できるMP3/WMA、JPEG収録ディスクについて

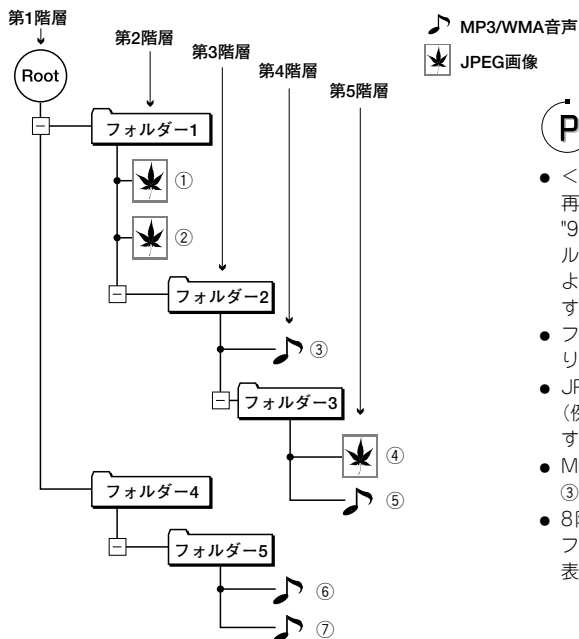
MP3、WMA、またはJPEG形式の圧縮フォーマットで記録されたファイルの再生ができます。ディスクの特性、記録状態等により、本機では再生できない場合があります。

- 本機で再生できるファイルは下記の通りです。

MP3：　ビットレート --- 32kbps〜320kbps
　　　サンプリング周波数 --- 32/44.1/48kHz
　　　推奨 --- 128kbps/44.1kHz
WMA：　ビットレート --- 48kbps〜192kbps
　　　サンプリング周波数 --- 32/44.1/48kHz
　　　推奨 --- 64kbps/44.1kHz
JPEG：　Exif Ver. 2.1 JPEGベースライン方式準拠
　　　画像解像度 --- 7680 x 7680以内（サブサンプリング --- 4：2：2、4：2：0）
　　　※プログレッシブJPEG、JPEG2000には対応していません。

- 本機はISO9660レベル1またはレベル2（拡張フォーマットを除く）で書き込まれたディスクに対応しています。（パケットライト方式で記録されたディスクには対応していません。）
- 本機はクローズ処理されたマルチセッションディスクに対応しています。
- 本機で再生できる最大フォルダ数は255、最大ファイル数は1743に制限されています。
- ファイル名には、必ず".MP3"（MP3ファイル）、".WMA"（WMAファイル）、".JPG"（JPEGファイル）の拡張子を付けてください。
- MP3やWMA以外のファイルに".MP3"または".WMA"の拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てスピーカーが破損したり耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
- JPEGファイルの特性や記録状態により、画像が乱れることがあります。

MP3/WMA 音声、JPEG 画像の再生順序について

MP3/WMA、JPEG ファイルが収録されたディスクを ①→②→③→④→⑤→⑥→⑦ の順番で再生します。

♪ MP3/WMA音声
JPEG画像

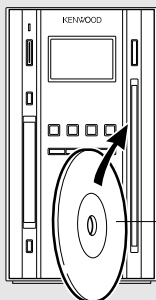
POINT

- <ディスク作成時のヒント>
再生順を設定したい場合は、再生したい順番に"01"〜"99"などの桁数を揃えた数字をフォルダー名やファイル名の先頭に付けてください。ただし書き込みソフトによっては意図した順番に書き込まれないことがあります。
- フォルダー3はフォルダー2に含まれているので、⑥より④が優先されます。
- JPEG画像からMP3/WMA音声に再生が移るときは（例：④から⑤）、画像を表示したまま音声を再生します。
- MP3/WMA音声からJPEG画像にスキップすると（例：③から④）音声を停止し、画像を表示します。
- 8階層より深い階層にあるフォルダーは、8階層目内のフォルダーのうち、再生順が最後のフォルダーと並んで表示されます。

DVD/CDを再生する DVD ビデオCD CD MP3/WMA JPEG

ディスクを再生するときの基本的な操作を説明します。P.B.C.（プレイバックコントロール）機能付きのビデオCDは、自動的にメニュー再生を行います。基本的な操作（→34～→36）を行うときは、P.B.C.機能をオフにしてから操作してください。（"P.B.C.のオン／オフを切り換える"→53）

電源オフ（スタンバイ状態）のときは、ディスクを入れることはできません。無理にディスクを入れないでください。故障の原因となります。

❶ 再生するディスクをディスク挿入口の中央に入れる

● 再生面には触れないでください。
● 8cm CDの場合、ディスク挿入口の中央からずれているとディスクが引き込まれません。ご注意ください。
● ディスクが引き込まれないときは、ディスクを引き出し、入れ直してください。

❷ DVD/CD▶/II キーを押す

本体 リモコン

DVD/CD ▶/II

DVDビデオやビデオCDのとき、ディスクによっては、ディスクを入れると再生が始まるものがあります。
テレビにメニュー画面が表示されたときは、次の操作をします。
① **カーソルキー（◀ ▶ ▲ ▼）または数字キーを押して、再生したい場面を選ぶ**
② **ENTER（エンター）キーを押す**
● 選んだ場面から再生が始まります。

POINT 上記の操作は基本的な操作です。ディスクによっては操作が異なる場合があります。ディスクに付属の説明書をご覧ください。

● 再生が始まります。
● 著作権管理が有効に設定されているWMAファイルは、"PROTECTED（プロテクテッド）"と表示され、次のファイルが再生されます。

一時停止またはスチル（静止画像）にする

再生中にDVD/CD▶/II キーを押す

本体 リモコン

DVD/CD ▶/II

● テレビに"Pause（ポーズ）"または"Still（スチル）"と表示します。
● DVDの設定の"IPB表示"がオンのときは、DVDビデオを再生中スチルするたびにテレビに"Still（スチル）(I)"、"Still（スチル）(P)"、"Still（スチル）(B)"のいずれか1つを表示します。→102
● **DVD/CD ▶/II**を押すと通常の再生にもどります。

ラベルなどを貼りつけたディスクはご使用にならないでください。故障の原因となります。

変形ディスク（星形、ハート形、カード形等）、ひび割れがあるディスク、大きくそったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

本機は、ディスクを光学的に検知して内部へ引き込むため、透明なディスクは使用することはできません。

再生を止める

STOP■ キーを押す

CDを再生しているとき

- STOP■キーを1回押します。

DVDビデオ、ビデオCD、MP3/WMA、JPEGファイルを再生しているとき

- STOP■キーを2回押します。
  STOP■キーを1回押すと、再生位置を記憶し、一時停止（リジューム）になります。JPEGファイルの場合は、壁紙になり停止します。再度STOP■キーを押すと記憶した内容がクリアされ停止になります。リジューム状態でDVD/CD▶/⏸キーを押すと、再生が始まります。

  DVDビデオ / ビデオCDのとき
  記憶した再生位置から再生します。
  MP3/WMAファイルのとき
  再生していたファイルの最初から再生します。
  JPEGファイルのとき
  表示していた画像から再生します。

次のときは、リジューム機能は働きません。

- ランダム再生中、リピートランダム再生中
- ビデオCDのP.B.C.再生中 ➡53
- DVDビデオのメニュー再生中 ➡45

ディスクを取り出す

本体のみ

DVD/CD⏏ キーを押す

スロー再生・逆スロー再生をする（DVDビデオ / ビデオCD/JPEG)

リモコンのみ

❶再生中にDVD/CD▶/⏸キーを押す（スチルにする）
❷◀◀ または ▶▶ キーを押す

- 押すたびに速度が5段階変わります。
- スロー再生・逆スロー再生のときは音声は出ません。
- ビデオCDは逆スロー再生はできません。
- オンスクリーンディスプレイを表示（➡46）しているとき、ON SCREENキーを押すとオンスクリーンディスプレイが消え速度表示が表示されます。
- DVD/CD ▶/⏸ キーを押すと通常の再生に戻ります。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

再生中にリモコンの ◀◀ または ▶▶ キーを押す

- 押すたびに速度が5段階変わります。
- 早送り・早戻しをすると、画面が乱れることがあります。
- オンスクリーンディスプレイを表示（➡46）しているとき、ON SCREENキーを押すとオンスクリーンディスプレイが消え速度表示が表示されます。
- DVD/CD ▶/⏸ キーを押すと通常の再生に戻ります。

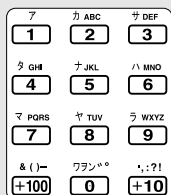
トラック／チャプター／ファイルの飛び越しをする

⏮ または ⏭ キーを押す

- 戻るときは⏮キーを押し、進むときは⏭キーを押します。
- 停止中に操作すると、飛び越して選んだトラック／ファイルの再生が始まります。DVDビデオおよびビデオCDがP.B.C.オン（➡53）のときは、停止中に操作することはできません。
- 再生中に⏮キーを1回押すと、再生しているトラック、チャプターまたはファイルの最初に戻ります。

タイトル／チャプター／トラックやファイルを選び再生する

リモコンのみ

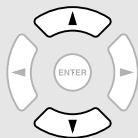
数字キーを使って再生したいタイトル／チャプター／トラック／ファイルの番号を押す

数字キーを押す順序は
- 23 曲目なら .... +10、+10、3
- 40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
- 311 曲目なら（MP3/WMA、JPEG）
  .... +100、+100、+100、+10、1

DVD ビデオのとき
- 停止中に操作すると、タイトルが選べます。選んだタイトルの再生が始まります。
- 再生中に操作すると、チャプターが選べます。選んだチャプターの再生が始まります。

CD またはビデオ CD（P.B.C. オフ時）のとき
- 選んだトラックの再生が始まります。

MP3/WMA、JPEG ファイルのとき
- 選んだファイルの再生が始まります。
- 表示部の "♪" が点灯します。

MP3/WMA、JPEG のフォルダーまたはファイルを選び再生する（フォルダーサーチ / ファイルサーチ）

リモコンのみ

JPEG画像を見る MP3/WMA JPEG

CD-R/CD-RWディスクに記録されたJPEG画像を再生することができます。MP3/WMAデータが混在している場合、JPEG画像を表示しながら音楽を楽しむことができます。

- **DVD/CD ▶/❚❚を押すと、1枚目のJPEG画像から指定のスライド時間（初期値は10秒）ずつ順番に再生します。**
- **画面に入りきらないJPEG画像は、縮小して表示します。縦、横の比率は変わりません。**
- **JPEG画像を90°ずつ回転させることができます。**

＜JPEGデータとMP3/WMAデータが混在している場合の動作について＞

JPEGデータの次のファイルがMP3/WMAデータの場合：

JPEG画像を表示したまま、MP3/WMAデータを再生します。

MP3/WMAデータの次のファイルがJPEGデータの場合：

MP3/WMAデータの再生が終わると、次のJPEG画像を表示します。音楽を再生したまま、次のJPEG画像にスキップすることはできません。

JPEG リストから選んで再生する

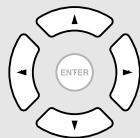
リモコンのみ

❶ JPEG画像が記録されているディスクを入れる

❷ JPEG LIST（リスト）キーを押す

TOP MENU/GROUP SEARCH
JPEG LIST

❸ カーソルキーで見たい画像を選ぶ

❹ ENTER（エンター）キーを押す

- 選んだ画像から順番に表示されます。

JPEG リスト表示例

その画面で働かないキーは、選択できないようになっています。

ディレクトリーから選んで再生する

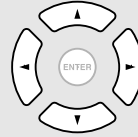
リモコンのみ

❶ JPEG画像が記録されているディスクを入れる

❷ DIRECTORY（ディレクトリー）キーを押す

MENU/P.B.C.
DIRECTORY

❸ カーソルキーで見たい画像を選ぶ

❹ ENTER（エンター）キーを押す

- 選んだ画像から順番に表示されます。

ディレクトリー表示例

その画面で働かないキーは、選択できないようになっています。

操作ガイドエリア
リモコンのキーに対応しています。

現在のページ

総ページ数

アイコンエリア

JPEGリスト表示とディレクトリー表示を切り換えます。

前のページへ

次のページへ

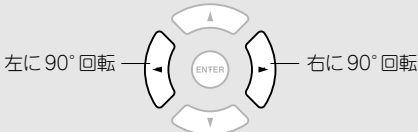
カーソルが、現在再生中のファイルに戻ります。

ディレクトリー表示を終了します。

JPEG 画像を回転させる

リモコンのみ

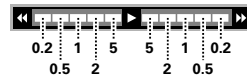
JPEG 画像表示中にカーソルキー ◄ ► を押す

左に90°回転　　ENTER　　右に90°回転

- JPEGリスト表示中、ディレクトリー表示中、オンスクリーンディスプレイ表示中（→46）は操作できません。
- MP3/WMA データが混在しているディスクでは、JPEG画像が表示されていても実際はMP3/WMAデータを再生している場合があります。このときJPEG画像を回転させることはできません。

スライド時間の設定

リモコンのみ

JPEG 画像表示中に ◄◄ ►► キーを押す

スライド時間のめやす（単位：秒）

- 初期値は 10 秒です。
- MP3/WMA データが混在しているディスクでは、次にMP3/WMA データが再生されると、設定したスライド時間はクリアされ初期値に戻ります。

表示部の表示内容を変える DVD ビデオCD CD MP3/WMA JPEG

押すたびに、本体表示部の表示内容を切り換えます。

リモコンのみ

再生中に DISPLAY キーを押す

DISPLAY
/CHARAC.

文字情報表示部下段が切り換わります。

- 設定された表示内容がない場合は、次の表示内容に移ります。

	CD のとき	DVD、ビデオ CD のとき	MP3/WMA、JPEG が記録されたディスクのとき
再生中	① *1 曲タイトル ② 時間 ③ 時計	① 時間 ② 時計	<*2 MP3/WMA> ① ファイル名 ② フォルダー名 ❸ TAGタイトル名 ❹ TAGアーティスト名 ❺ TAGアルバム名 ⑥ 時間 ⑦ 時計 <JPEG> ① ファイル名 ② フォルダー名 ③ 時間 ④ 時計
停止中	① *1 ディスクタイトル ② 時間 ③ 時計		

*1 CD-TEXT 対応ディスクの場合

CD-TEXT 機能について

本機は、CD-TEXT 対応のディスクを再生すると、CD に収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。

- CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が約1500文字を超えると **"TEXT FULL"** と表示されます。

*2 <MP3/WMA の TAG 情報について >

- ❸❹❺ は、停止中は "・・・・" と表示されます。
- 英数字のみ表示されます。
- 本機は TAG 情報 Ver. 1.X に対応しています。

表示部の時間表示を変える DVD ビデオCD CD

リモコンのみ

再生中に TIME キーを押す

- MP3/WMA、JPEG ファイルのときは、① のみ表示されます。
- プログラム再生（→40）、ランダム再生（→42）では、① と ② のみ表示されます。
- ビデオ CD で P.B.C. をオンにしているときは、時間は表示されません。
- DVDビデオのディスクによっては正しく表示されない場合があります。

押すたびに切り換わります。

① **トラック、ファイルやチャプターの経過時間**

② **トラックやチャプターの残り時間**（**"ー"**で表示されます）

③ **ディスクまたはタイトルの経過時間**（**"T"**で表示されます）

④ **ディスクまたはタイトルの残り時間**（**" ー "** と**"T"** で表示されます）

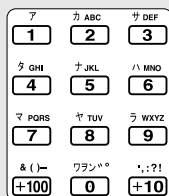
ディスクの曲順を並べ替えて聞く（プログラム再生）ビデオCD CD

好きな曲を好きな曲順に並べ替えてプログラムし、聞くことができます。
- ビデオ CD で P.B.C. がオンのときは、オフにしてください。→53
- 停止中にリモコンを使って操作します。

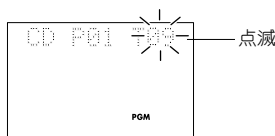
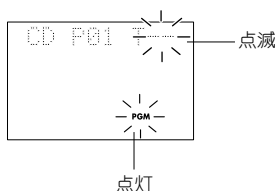
DVD/CD ►/❚❚ キーを押して入力切換を "DVD/CD" にする

❶ 再生中のとき　STOP■ キーを押す

❷ P. MODEキーを押し、"PGM"表示を点灯させる

❸ 数字キーで曲番号を選ぶ
曲番号が点滅中に手順 ❹ に進みます。

数字キーを押す順序は

12 曲目なら	+10、2
20 曲目なら	+10、+10、0

❹ SET キーを押す

- 32 曲まで選べます。"PGM FULL" と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

❺ 手順 ❸ と ❹ の操作を繰り返す

❻ DVD/CD►/❚❚ キーを押す

DVD/CD ►/❚❚

- プログラムした曲順に再生します。
- 再生中に ⏮ または ⏭ キーを押すと、プログラムした順に曲の飛び越しができます。⏮ キーを 1 回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
- リピート再生（→43）と組み合わせると、プログラム再生を繰り返すことができます。

曲を追加するには

❶ 停止中に数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は

12曲目なら	**+10、2**
40曲目なら	**+10、+10、+10、+10、0**

❷ SET（セット）キーを押す

- 選んだ曲がプログラムの最後に追加されます。
- 32曲まで選べます。**"PGM FULL"**（プログラム フル）と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

プログラムした曲を取り消すには

リモコンのみ

停止中に CLEAR/DEL.（クリアー/デリート）キーを押す

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

リモコンのみ

停止中に P. MODE（プレイモード）キーを押す

- **"PGM"**（プログラム）表示が消灯し、プログラム再生のモードが解除されプログラムした内容が全て消去されます。
- 本体の**DVD/CD⏏**キーを押してディスクを取り出すか、**POWER**（パワー）⏻キーを押して電源をオフ（スタンバイ状態）にしたときも、プログラム再生のモードが解除され、プログラムした内容が全て消去されます。

ディスクの曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生）

ビデオCD　CD　MP3/WMA　JPEG

毎回曲がランダム（無作為）に選曲されるので、飽きることなく楽しめます。

- ビデオCDでP.B.C.がオンのときは、オフにしてください。→53
- プログラム再生モードのときは､ランダム再生はできません｡プログラム再生を解除してから操作してください｡→41
- リモコンを使って操作します。

DVD/CD ▶/❚❚ キーを押して入力切換を "DVD/CD" にする

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確認する

- "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中にP.MODE（プレイモード）キーを押して消灯させます。

❷ RANDOM（ランダム）キーを押す

RANDOM

- "RANDOM"（ランダム）表示が点灯し、ランダム再生が始まります。
- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- 停止すると､ランダム再生は解除されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶❙ キーを押す

- ❙◀◀ キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

STOP（ストップ）■ キーを押す

- "RANDOM"（ランダム）表示が消灯します。

繰り返し再生する（リピート再生） DVD ビデオCD CD MP3/WMA JPEG

お気に入りの映像や曲を繰り返し再生することができます。
- DVD ビデオやビデオ CD では、リピート再生できないものがあります。
- ビデオ CD をリピート再生するときは、P.B.C. 機能をオフにしてから操作してください。→53
- リモコンを使って操作します。
- オンスクリーンディスプレイを使ってリピート再生の操作をすることもできます。→47,→49,→50

DVD/CD ►/II キーを押して入力切換を "DVD/CD" にする

再生中に REPEAT キーを押してリピートモードを選ぶ

REPEAT

REPEAT キーを押すたびに次のように変わります。

"REPEAT ONE "（1 曲リピート）： 再生中の曲だけを繰り返します。
DVDビデオのときは、再生中のチャプターを繰り返します。
ビデオ CD のときは、再生中のトラックを繰り返します。

- CD やビデオ CD をプログラム再生、ランダム再生しているときは、**"REPEAT ONE"** は選べません。

"REPEAT"（全曲リピート）： 1 枚のディスクを繰り返します。
DVDビデオのときは、再生中のタイトルを繰り返します。
プログラム再生のときは、プログラムした全ての曲を繰り返します。

REPEAT

解除（消灯）： リピート再生を解除します。

- リピート再生中に **STOP■** キーを押して再生を停止したときも、リピートモードが解除されます。

MP3/WMA、JPEGファイルをリピートするとき

MP3/WMA、JPEG ファイルをリピートするときは、全曲リピート（ディスクの全曲を繰り返す）、1 曲リピート（再生中の曲を繰り返す）以外に、フォルダーリピート（再生中の曲のフォルダの全曲を繰り返す）があります。

REPEAT キーを押すたびに次のように変わります。

"REPEAT ONE "（1 曲リピート）
"REPEAT □"（フォルダーリピート）
"REPEAT"（全曲リピート）
解除（消灯）

POINT

1曲または 1つのチャプターだけ繰り返し再生するとき、あらかじめ数字キーまたは |◄◄、►►| キーを使って曲またはチャプターを選んで再生しておくと、簡単にその曲またはチャプターだけの繰り返し再生ができます。

ランダムリピート再生する ビデオCD CD MP3/WMA JPEG

ランダム再生中に REPEAT キーを押す

REPEAT

- 全曲のランダム再生が繰り返されます。
- ビデオCDをランダムリピート再生するときは、P.B.C. 機能をオフにしてから操作してください。→53
- **STOP■** キーを押して停止すると、ランダム再生とリピート再生が解除されます。

プログラム再生モードのときは、ランダム再生はできません。プログラム再生を解除してから操作してください。
→41

DVD/CDを操作する

指定した区間を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

DVD ビデオCD CD

再生中に、繰り返しを始めるところと終わるところを指定して、指定した区間を繰り返し再生します。

- DVD ビデオやビデオ CD では、A-B リピート再生ができないものがあります。
- プログラム再生モードまたはランダム再生中は、A-B リピート再生はできません。プログラム再生またはランダム再生を解除してから操作してください。➡41,➡42
- リモコンを使って操作します。
- オンスクリーンディスプレイを使ってA-Bリピート再生の操作をすることもできます。➡47,➡49

DVD/CD ▶/❚❚ キーを押して入力切換を "DVD/CD" にする

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確認する

- "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中にP. MODE（プレイモード）キーを押して消灯させます。

❷ DVD/CD▶/❚❚ キーを押して、再生する

DVD/CD ▶/❚❚

❸ 繰り返しを始めるところでA ▶ Bキーを押す

A ▶ B

- 開始場所 A が指定されます。

```
▶A-   REPEAT
        2:07
```

❹ 繰り返しを終わらせるところでA ▶ Bキーを押す

- 終了場所Bが指定され、AB間の繰り返すA-Bリピート再生が始まります。

```
▶A-B REPEAT
        5:15
```

A-B リピート再生をやめるには

A-B リピート再生中にA ▶ B キーを押します。

DVD ビデオのメニュー再生をする DVD

DVD ビデオのトップメニュー画面またはメニュー画面を呼び出して、メニュー画面で再生したい項目を選んで再生します。

- **DVD ビデオを再生して、すでにメニュー画面が表示されているときは、手順 ❷ から操作してください。**
- **リモコンを使って操作します。**
- **ディスクによっては、メニュー再生ができないものもあります。**

DVD/CD ▶/❚❚ キーを押して入力切換を "DVD/CD" にする

❶ TOP MENU（トップ メニュー）キーまたはMENU（メニュー）キーを押して、メニュー画面を呼び出す

- 再生中にトップメニュー画面を表示させたとき、TOP（トップ） MENU（メニュー） キーをもう一度押すと、最初にキーを押した場面まで戻り、そこから再生します。
（ディスクによっては、このような動作にならない場合があります。）

❷ カーソルキー（◄ ► ▲ ▼）を使って再生したい場面を選ぶ

- 数字キーを使って場面を選ぶこともできます。数字キーで選んだときは、選んだ場面から再生が始まります。手順 ❸ は必要ありません。

❸ ENTER（エンター） キーを押す

- 選んだ場面から再生が始まります。
- メニューが階層構造のときは、1つ下の階層のメニューに移ります。手順 ❷ と ❸ の操作をしてください。

オンスクリーンディスプレイを使って操作する DVD CD ビデオCD MP3/WMA JPEG

テレビにオンスクリーンディスプレイを表示させて、各種の操作や時間表示を見ることができます。

- DVDビデオでメニュー画面を表示しているとき（→45）は、オンスクリーンディスプレイは表示されません。
- リモコンを使って操作します。

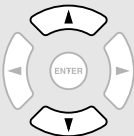
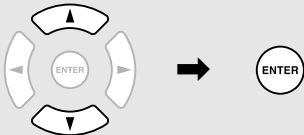
DVD/CD ►/II キーを押して入力切換を "DVD/CD" にする

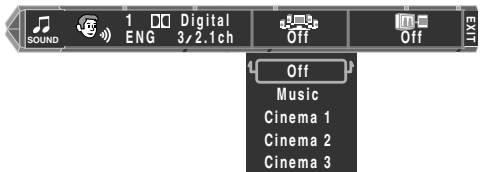
オンスクリーンディスプレイの基本操作

❶ ON SCREEN（オン スクリーン）キーを押して、オンスクリーンディスプレイを表示させる

ON SCREEN

❷ カーソルキー（▲▼）を押して、操作するオンスクリーンディスプレイを選ぶ

- オンスクリーンディスプレイには"MAIN（メイン）"、"SOUND（サウンド）"、"VISUAL（ビジュアル）"があります。

❸ カーソルキー（◄ ►）を押してアイコンを選び、ENTER（エンター）キーを押す

- サブメニューが表示されます。
- 操作できないアイコンは、飛び越されます。
- 端のアイコンを選んでいるとき、外側のカーソルキー（◄ ►）を押すと反対側のアイコンに移動します。

❹ カーソルキー（▲ ▼）を押して内容を選び、ENTER（エンター）キーを押す

オンスクリーンディスプレイの表示をやめるとき

EXIT（イグジット）アイコンを選んでENTER（エンター）キーを押す、または ON SCREEN（オン スクリーン）キーを押します。

または

オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する
"MAIN"(メイン)オンスクリーンディスプレイ

❶ **タイトルアイコン**

タイトル番号が表示されます。

タイトル番号を選ぶ

タイトルアイコンを選び、サブメニューからタイトル番号を選びます。

❷ **チャプターアイコン**

チャプター番号が表示されます。

チャプター番号を選ぶ

チャプターアイコンを選び、サブメニューからチャプター番号を選びます。

❸ **時間表示アイコン**

時間表示が表示されます。

時間表示を変える

時間表示アイコンを選び、サブメニューから表示させる時間を選びます。

本体表示部の時間表示も変わります。

Time(タイム) Search(サーチ) --:--:--	: タイムサーチをするときに選びます(同一タイトル内)。
Single(シングル) Time(タイム)	: 再生中のチャプターの経過時間を表示します。
Single(シングル) Remain(リメイン) Time(タイム)	: 再生中のチャプターの残り時間を表示します。
Total(トータル) Time(タイム)	: 再生中のタイトルの経過時間を表示します。
Total(トータル) Remain(リメイン) Time(タイム)	: 再生中のタイトルの残り時間を表示します。

タイムサーチをする

① 再生中に時間表示アイコンを選ぶ
② サブメニューから"Time(タイム) Search(サーチ) --:--:--"を選ぶ
③ 数字キーを使って、再生中のタイトル内の時間を入力し、ENTER(エンター)キーを押す
例:12分34秒 --- 1、2、3、4と押す
- 入力した時間の場面から再生が始まります。

❹ **メモリープレイアイコン**

再生したい地点を登録し、簡単に呼び出すメモリー再生をするときに使います。

メモリー登録する

① メモリー登録したいチャプターを再生中に、メモリープレイアイコンの"SET(セット)"を選ぶ
② サブメニューから登録するリスト番号を選ぶ
③ メモリー再生を開始する場所で、ENTER(エンター)キーを押す
- 選んだ番号のリストにメモリー再生開始地点情報が入力されます。

メモリー再生する

① メモリープレイアイコンの"PLAY(プレイ)"を選ぶ
② サブメニューのリストからメモリー再生する番号を選び、ENTER(エンター)キーを押す
- 選んだリストの再生場所からメモリー再生が始まります。

❺ **リピートアイコン**

リピート再生モードが表示されます。

リピート再生モードを変える

リピートアイコンを選び、サブメニューからリピート再生モードを選びます。

Off(オフ)	: リピート再生を解除します。
Chapter(チャプター)	: チャプターを繰り返し再生します。
Title(タイトル)	: タイトルを繰り返し再生します。
A B	: 指定した区間を繰り返し再生します(A-Bリピート再生)。

❻ **EXIT(イグジット)アイコン**

オンスクリーンディスプレイ表示を消すときに選びます。

"SOUND" オンスクリーンディスプレイ

7 音声アイコン
ストリーム番号、音声信号、音声言語、チャンネル数が表示されます。

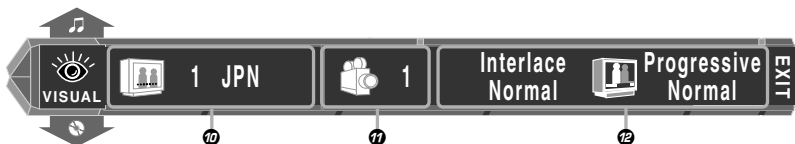
音声言語を切り換える
音声アイコンを選び、サブメニューから音声言語を選びます。

8 V.F.S.アイコン
V.F.S.のモードが表示されます。

V.F.S.を切り換える
V.F.S.アイコンを選び、サブメニュー（**Off**、**Music**、**Cinema 1**、**Cinema 2**、**Cinema 3**）からモードを選びます。

9 シネマボイスアイコン
シネマボイスモードのオン／オフが表示されます。ドルビーデジタルマルチチャンネル音声で収録されているDVDビデオで、台詞が聞き取りにくいときに使います。

シネマボイスモードを切り換える
シネマボイスアイコンを選び、サブメニューから **"On"**または**"Off"**を選びます。

"VISUAL" オンスクリーンディスプレイ

10 字幕アイコン
字幕言語が表示されます。

字幕を切り換える
字幕アイコンを選び、サブメニューから字幕言語を選びます。

11 アングルアイコン
アングル番号が表示されます。

アングルを切り換える
アングルアイコンを選び、サブメニューからアングルを選びます。

12 画質調整アイコン
画質を調整するときに使います。
画質調整アイコンを選び、サブメニューから画質を選びます。
調整のしかたは**"画質を調整する"**（→51）をご覧ください。

オンスクリーンディスプレイでCD／ビデオCDを操作する

"MAIN"オンスクリーンディスプレイ

❶ **トラックアイコン**
トラック番号が表示されます。
トラック番号を選ぶ（CD/P.B.C.オフ時のビデオCD）
トラックアイコンを選び、サブメニューからトラック番号を選びます。

❷ **時間表示アイコン**
時間表示が表示されます。
時間表示を変える（CD/P.B.C.オフ時のビデオCD）
時間表示アイコンを選び､サブメニューから表示させる時間を選びます。
本体表示部の時間表示も変わります。

Time Search --:--:--	：タイムサーチをするときに選びます（同一トラック内）。
Single Time	：再生中のトラックの経過時間を表示します。
Single Remain Time	：再生中のトラックの残り時間を表示します。
Total Time	：再生中のディスクの経過時間を表示します。
Total Remain Time	：再生中のディスクの残り時間を表示します。

タイムサーチをする（CD/P.B.C.オフ時のビデオCD）
"オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する"の**"タイムサーチをする"**と同じ操作をします（手順③は、再生中のトラック内の時間を入力します。）。→47

❸ **メモリープレイアイコン**（CD/P.B.C.オフ時のビデオCD）
再生したい地点を登録し､簡単に呼び出すメモリー再生をするときに使います。**"メモリー登録""メモリー再生"**の操作については､**"オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する"**の❹(→47)を参照してください。

❹ **リピートアイコン**
リピート再生モードが表示されます。
リピート再生モードを変える
リピートアイコンを選び､サブメニューからリピート再生モードを選びます。

Off	：リピート再生を解除します。
Track	：トラックを繰り返し再生します。（CD/P.B.C.オフ時のビデオCD）
Disc	：ディスクを繰り返し再生します。（CD/P.B.C.オフ時のビデオCD）
A B	：指定した区間を繰り返し再生します（A-Bリピート再生）。

❺ **EXITアイコン**
オンスクリーンディスプレイ表示を消すときに選びます。

"SOUND"オンスクリーンディスプレイ

❻ **音声アイコン**
音声の属性、再生周波数、ビット数、再生チャンネルが表示されます。
ビデオCDの再生チャンネルを切り換える
音声アイコンを選び､サブメニューから再生チャンネルを選びます。

❼ **V.F.S.アイコン**
V.F.S.のモードが表示されます。
V.F.S.を切り換える
V.F.S.アイコンを選び、サブメニュー（**Off**、**Music**、**Cinema 1**、**Cinema 2**、**Cinema 3**）からモードを選びます。

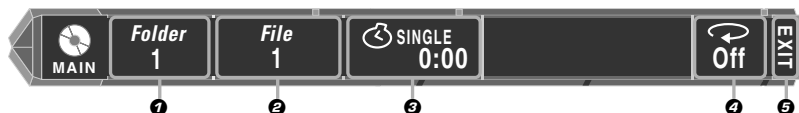
"VISUAL"オンスクリーンディスプレイ

❽ **画質調整アイコン**
画質を調整するときに使います｡画質調整アイコンを選び、サブメニューから画質を選びます。
調整のしかたは**"画質を調整する"**(→51)をご覧ください。

DVD/CDを操作する

オンスクリーンディスプレイでMP3/WMA、JPEGを操作する

"MAIN"オンスクリーンディスプレイ

❶ **フォルダーアイコン**
フォルダー番号が表示されます。

フォルダーを選ぶ
カーソルキー（▲▼）を押してフォルダー番号を選び、**ENTER**キーを押します。

❷ **ファイルアイコン**
ファイル番号が表示されます。

ファイルを選ぶ
カーソルキー（▲▼）を押してファイル番号を選び、**ENTER**キーを押します。

❸ **時間表示アイコン**
時間表示が表示されます。

❹ **リピートアイコン**
リピート再生モードが表示されます。

リピート再生モードを変える
リピートアイコンを選び、サブメニューからリピート再生モードを選びます。
Off　：リピート再生を解除します。
File　：ファイルを繰り返し再生します。
Folder　：フォルダーを繰り返し再生します。
Disc　：ディスクを繰り返し再生します。

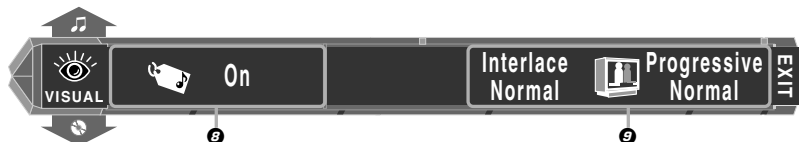
❺ **EXIT アイコン**

"SOUND"オンスクリーンディスプレイ

❻ **音声アイコン**
データ形式（MP3またはWMA）が表示されます。
JPEGファイルの場合は"- - -"と表示されます。

❼ **V.F.S. アイコン**
V.F.S.のモードが表示されます。

V.F.S. を切り換える
V.F.S.アイコンを選び、サブメニュー（**Off**、**Music**、**Cinema 1**、**Cinema 2**、**Cinema 3**）からモードを選びます。

"VISUAL"オンスクリーンディスプレイ

❽ **タグ表示アイコン**
テレビ画面にアルバム名、曲名、アーティスト名を表示させるタグ表示機能のオン／オフの設定をするときに使います。

タグ表示機能を使う
タグ表示アイコンを選び、サブメニューから**"On"**を選びます。

❾ **画質調整アイコン**
画質を調整するときに使います。画質調整アイコンを選び、サブメニューから画質を選びます。
調整のしかたは**"画質を調整する"**（➞51）をご覧ください。

画質を調整する

本機でも画質の調整ができます。

- テレビに画質調整機能があるときは、テレビで画質を調整してください。
- 映像ソフトを再生中に操作します。
- 本機の映像信号出力の設定（プログレッシブまたはインターレース）に関わらず、インターレースとプログレッシブの画質の調整ができます。
- "Noise Reduction"と"GAMMA"の設定は、インターレースとプログレッシブの共通設定項目です。
画質調整アイコンの"Interlace"または"Progressive"のどちらを選んでも同じ設定ができます。

インターレースの画質調整 →48

❶ "VISUAL"オンスクリーンディスプレイ内の画質調整アイコン"Interlace"を選び、ENTERキーを押す

❷ カーソルキー（▲ ▼）を押して画質を選び、ENTERキーを押す

"Normal"　：通常の画質で再生します。

"Fine"　：輪郭を強調してクッキリとした画質になります。

"Soft"　：ノイズの少ない柔らかな画質になります。

"Cinema"　：映画館のスクリーンのイメージに近い画質になります。

"User Mode 1"　：User Modeメニューが表示され、詳細な設定ができます。"User Mode 1"または"User Mode 2"を選んだとき"をご覧ください。

"User Mode 2"　：User Modeメニューが表示され、詳細な設定ができます。"User Mode 1"または"User Mode 2"を選んだとき"をご覧ください。

"Noise Reduction"：Noise Reductionメニューが表示され、詳細な設定ができます。"Noise Reduction"を選んだとき"をご覧ください。

"GAMMA"　：接続するTV画面の色調（明るさ）を補正します。"GAMMA"メニューが表示されます。カーソルキー（▲ ▼）を押して数値を選び、ENTERキーを押して調整します。

- "Normal""Fine""Soft""Cinema"を選んだときは、画質の調整は終了です。

"User Mode 1"または"User Mode 2"を選んだとき

❶ カーソルキー（▲ ▼）を押して画質を選び、ENTERキーを押す

"Contrast"　：−7〜＋7の範囲で映像の明暗の差を調整します。

"Color"　：−7〜＋7の範囲で色の濃さの調整をします。

"Sharpness"　：−7〜＋7の範囲で映像の輪郭を強調する度合いの調整をします。

"Brightness"　：0〜＋15の範囲で映像の明るさを調整します。

❷ カーソルキー（▲ ▼）を押して数値を選び、ENTERキーを押す

- 手順❶と❷を繰り返して画質を調整します。
- RETURNキーを押すと"VISUAL"オンスクリーンディスプレイに戻ります。

"Noise Reduction"を選んだとき

❶ カーソルキー（▲ ▼）を押して設定項目を選び、ENTERキーを押す

"Mosquito NR"：モスキートノイズが低減します。"On 2""On 1""Off"から選びます。

"Block NR"　："On"を選ぶとブロックノイズが低減します。

"3D NR"　："On"を選ぶと映像のノイズが低減します。

"Dot NR"　："On"を選ぶとドットノイズが低減します。

❷ カーソルキー（▲ ▼）を押して設定項目を選び、ENTERキーを押す

- 手順❶と❷を繰り返して画質を調整します。
- RETURNキーを押すと"VISUAL"オンスクリーンディスプレイに戻ります。
- "3D NR"と"Dot NR"は、同時にオンを選べません。

プログレッシブの画質調整 → 48

❶ "VISUAL" オンスクリーンディスプレイ内の画質調整アイコン "Progressive" を選び、ENTER キーを押す

❷ カーソルキー（▲ ▼）を押して画質を選び、ENTER キーを押す

"Normal" : 通常の画質で再生します。
"Fine" : 輪郭を強調してクッキリとした画質になります。
"Soft" : ノイズの少ない柔らかな画質になります。
"Cinema" : 映画館のスクリーンのイメージに近い画質になります。
"User Mode 1" : User Mode メニューが表示され、詳細な設定ができます。"User Mode 1" または "User Mode 2" を選んだとき" をご覧ください。
"User Mode 2" : User Mode メニューが表示され、詳細な設定ができます。"User Mode 1" または "User Mode 2" を選んだとき" をご覧ください。
"Noise Reduction" : Noise Reduction メニューが表示され、詳細な設定ができます。"Noise Reduction" を選んだとき" をご覧ください。
"GAMMA" : 接続する TV 画面の色調（明るさ）を補正します。"GAMMA" メニューが表示されます。カーソルキー（▲ ▼）を押して数値を選び、ENTER キーを押して調整します。

- "Normal""Fine""Soft""Cinema"を選んだときは、画質の調整は終了です。

"User Mode 1" または "User Mode 2 " を選んだとき

❶ カーソルキー（▲ ▼）を押して設定項目を選び、ENTER キーを押す

"Contrast" : −7～+7の範囲で映像の明暗の差を調整します。
"Color" : −7～+7の範囲で色の濃さの調整をします。
"Sharpness" : −7～+7の範囲で映像の輪郭を強調する度合いの調整をします。
"Brightness" : 0～+ 15 の範囲で映像の明るさを調整します。
"I/P" : プログレッシブ接続を利用しているとき（D端子接続）、プログレッシブ変換動作を選びます。

"I/P" を選んだとき

"AUTO" : 自動切換え（Video または Film）ポジション（初期設定値）
"Film" : フィルム映像（毎秒24コマ）を、プログレッシブ出力（525p）テレビ映像信号に変換します。
"Video" : 通常のビデオ映像信号（インターレース）で記録されたソフトをプログレッシブ出力（525 p）テレビ映像信号に変換します。

❷ カーソルキー（▲ ▼）を押して数値または項目を選び、ENTER キーを押す

- 手順 ❶ と ❷ を繰り返して画質を調整します。
- RETURN キーを押すと "VISUAL" オンスクリーンディスプレイに戻ります。

"Noise Reduction" を選んだとき

❶ カーソルキー（▲ ▼）を押して設定項目を選び、ENTER キーを押す

"Mosquito NR" : モスキートノイズが低減します。"On 2""On 1""Off" から選びます。
"Block NR" : "On"を選ぶとブロックノイズが低減します。
"3D NR" : "On"を選ぶと映像のノイズが低減します。
"Dot NR" : "On"を選ぶとドットノイズが低減します。

❷ カーソルキー（▲ ▼）を押して設定項目を選び、ENTER キーを押す

- 手順 ❶ と ❷ を繰り返して画質を調整します。
- RETURN キーを押すと "VISUAL" オンスクリーンディスプレイに戻ります。
- "3D NR" と "Dot NR" は、同時にオンを選べません。

P.B.C. 付きのビデオ CD のメニュー再生をする ビデオCD

P.B.C.（プレイバックコントロール）機能付きビデオ CD は、自動的にメニュー再生を行います。メニュー画面の手順に従って操作をしてください。(詳しい操作方法、操作キーは再生するソフトに付属の説明書をご覧ください)

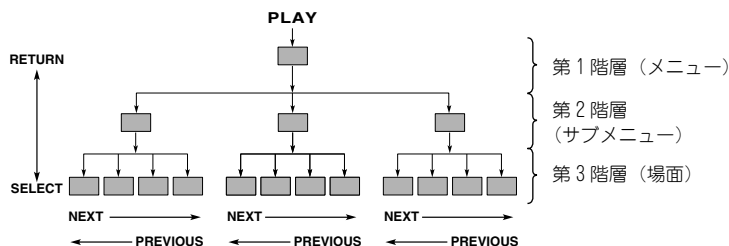
ビデオ CD 再生時に使われる主な操作ボタンと表示例

本機の操作ボタン	ENTER	RETURN	⏮	⏭
ソフトのジャケットの表示	► (SELECT)	↶● (RETURN)	⏮ (PREVIOUS)	⏭ (NEXT)

- ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

ビデオ CD メニューの階層構造について：

メニュー画面付きの P.B.C. 付き ビデオ CD を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが階層的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で項目を選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例：

進むとき：

ENTER（SELECT）キー、または数字キーを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層のメニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

戻るとき：

RETURN キーを押すたびに、一つ上の階層へ戻っていきます。

- 各階層で選択可能なメニュー（場面）が複数ある場合は、⏮ キーまたは ⏭ キーで画面の切り換えができます。

P.B.C. のオン／オフを切り換える

1. P.B.C. 機能付きビデオ CD を入れる
2. DVD/CD►/II キーを押して入力切り換えを "DVD/CD" にする
3. STOP■ キーを押す
4. P.B.C. キーを押す

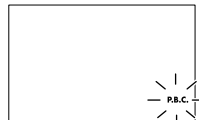
MENU / P.B.C.
DIRECTORY

押すたびに切り換わります。

P.B.C. オン： テレビに"**P.B.C. On**"と2秒間表示し、プレイバックコントロール付きのビデオCDをP.B.C.に従って再生します。

P.B.C. オフ： テレビに "**P.B.C. Off**" と2秒間表示し、プレイバックコントロール付きのビデオCDをP.B.C.をオフにして、通常の再生をします。

P.B.C. をオンにしたとき

DVD/CDを操作する

サラウンドを楽しむ

V.F.S.（バーチャル・フロント・サラウンド）機能により、リアスピーカーなしでも臨場感あふれる自然なサラウンド効果をお楽しみいただけます。V.F.S.回路のサラウンド技術として、"BBE*" および "Tru Surround"（トゥルー サラウンド）が搭載されています。

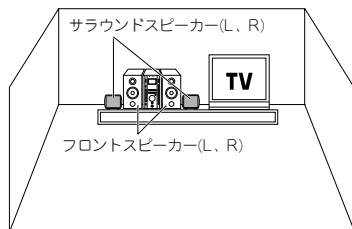
V.F.S. のモード

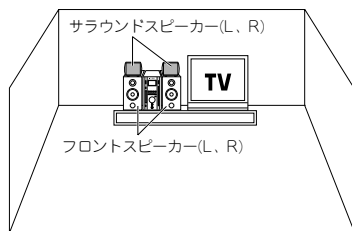
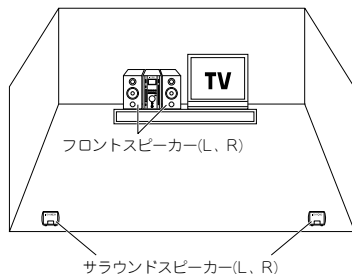
MUSIC（ミュージック）

DVDはもちろん、CDでもライブの臨場感を楽しむことができます。音楽ディスクを再生するときはこのモードをお選びください。サラウンドスピーカーをどこに配置しても効果のあるモードです。

CINEMA 1（シネマ）

DVDの5. 1ch信号をそのままV.F.S.に変換。DVD本来の臨場感を最も自然な形で再生します。フロントスピーカーのそばにサラウンドスピーカーを設置して映画を楽しむときは、このモードをお選びください。

CINEMA 2（シネマ）

昔の映画のように、5.1chの音声信号非対応のソフトを、より迫力のサラウンド効果で楽しむことができます。サラウンドスピーカーを離しておけない場合でも、十分なサラウンド感が得られます。

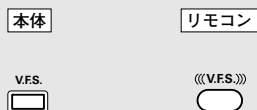
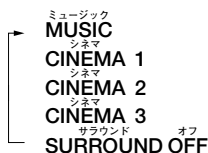
CINEMA 3（シネマ）

サラウンドスピーカーを左右に大きく離したり、リアスピーカーとしてセッティングする場合、このモードをお選びください。

* BBE 技術の特性

スピーカーを通して再生された音は、多かれ少なかれ迫真性に欠けており、スピーカー独自のわずかな音の歪みが発生します。BBE はこの問題に対して、周波数間に起こる時間の遅れと減衰した高域を補正します。その結果、BBE を使って再現された音はライブで聞かれるような忠実で本物の音となります。

V.F.S. のモードを選ぶ

V.F.S.キーを押す

押すたびに切り換わります

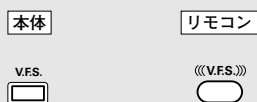
→ MUSIC
CINEMA 1
CINEMA 2
CINEMA 3
SURROUND OFF

- V.F.S.機能が働いているときは、TONE機能は働きません。→24
- サラウンドスピーカーは、V.F.S.を使っているときだけ音が出ます。

サラウンドチャンネルを調整する

サラウンドスピーカーの音量を調整して、お好みのサラウンド効果をお楽しみください。
音声を聞きながら操作してください。

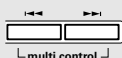
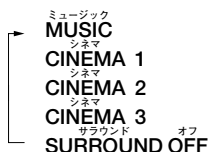
❶ V.F.S.キーを押す

押すたびに切り換わります

→ MUSIC
CINEMA 1
CINEMA 2
CINEMA 3
SURROUND OFF

❷ サラウンドスピーカーの音量を調整する

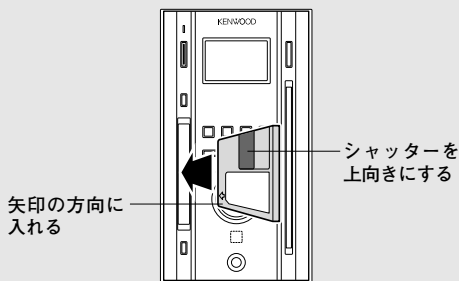
① 本体のmodeキーを押す

② multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"SURR. LEVEL"を選び、setキーを押す

③ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、サラウンドチャンネルの音量を調整する

- "-10"～"+10"の範囲で調整できます。
- サラウンドチャンネルの調整は、リスニングポジションで音を聞きながら行ってください。

④ setキーを押す

- 本体の volumeつまみやリモコンのVOLUMEキーを使って音量を調整するとサラウンドチャンネルの音量も変わります。また、バランスの調整をしたときもサラウンドチャンネルの音量も変わります。

MDを聞く

❶ MDをMD挿入口へ入れる

電源オフ（スタンバイ状態）のときは、MDを入れることはできません。無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

❷ MD▶/II キーを押す

本体 リモコン

- 再生が始まります。

タイトル表示について

MDにディスクタイトルが記録されているときは、MD挿入口へ入れるとディスクタイトルが表示されます。
曲タイトルが記録されているときは、再生中の曲の曲タイトルが表示されます。

- タイトルが記録されていないときは、"・・・・・"と表示されます。
- 1曲も録音されていないときは、"BLANK DISC"（ブランク ディスク）と表示されます。

停止中は、ディスクタイトルが表示されます。
MDのグループ再生モード（→59）で停止中は、グループタイトルが表示されます。

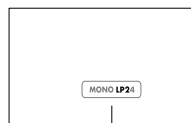
リモコンのみ

DISPLAY/CHARAC.

押すたびに切り換わります。

MD の録音モード表示について

本機は MDLP *に対応しています。MD の曲は、録音したときのモードにしたがって再生されます。再生が始まると、録音したときのモードが表示されます。停止中は設定している録音モード（**→68****）が表示されます。**

消灯 ：標準ステレオ録音した曲（MDLP に対応していない MD レコーダーで録音した曲）を再生しているとき
MONO（モノラル） ：モノラル長時間録音した曲を再生しているとき
LP2 ：ステレオ２倍長時間録音した曲を再生しているとき
LP4 ：ステレオ４倍長時間録音した曲を再生しているとき

録音モード表示

* MDLP は MD 規格に適した新しい音声圧縮方式 ATRAC3 を採用して、ステレオ２倍（または４倍）の長時間録音、再生モードを持ったMDレコーダーやMDプレーヤー、またはATRAC3により音声録音されているMDメディア（再生専用 MD）に表示されています。

一時停止する

MD►/II キーを押す

本体　リモコン

- 一時停止中に **MD►/II** キーを押すと通常の再生に戻ります。

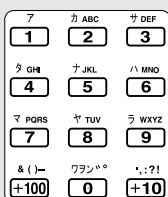
再生を止める

STOP（ストップ）■ キーを押す

本体　リモコン

曲を選んで再生する

リモコンのみ

リモコンの数字キーを使って再生したい曲番号を押す

数字キーを押す順序は
23 曲目なら
.... +10、+10、3
40 曲目なら
.... +10、+10、+10、+10、0
213 曲目なら
.... +100、+100、+10、3

早送り・早戻しする

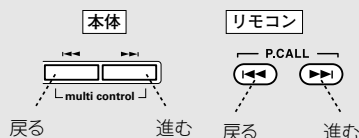
リモコンのみ

再生中に ◄◄ または ►► キーを押しつづけます

- 指を離したところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは、高速となり音が出ません。

曲を飛び越す

I◄◄ または ►►I キーを押す

本体　リモコン

- 戻るときは I◄◄ キーを押し、進むときは ►►I キーを押します。
- 停止中に操作すると、飛び越して選んだ曲の再生が始まります。
- 再生中に I◄◄ キーを１回押すと、再生している曲の最初に戻ります。

MD を取り出す

本体のみ

MD▲ キーを押す

表示部の時間表示を変える

本体表示部の時間表示を変えます。

リモコンのみ

TIME（タイム） キーを押す

押すたびに切り換わります。

① 曲の経過時間

② 曲の残り時間（" ー " で表示されます）

MD T003
-4:25

③ MD ／グループの経過時間
（"T" で表示されます）

MD T003
18:02T

④ MD ／グループに録音されている全ての曲の残り時間
（" ー " と "T" で表示されます）

⑤ MD の録音可能残り時間
（"R" で表示されます）

- 一曲リピート再生時（➡64）およびランダム再生（➡63）のときは、①と②のみ表示します。
- プログラム再生（➡61）のとき、③は**プログラム全体の経過時間**、④は**プログラム全体の残り時間**を表示します。
- MDグループ再生時、③は**再生しているグループ内での経過時間**を、④は**再生しているグループ内の全ての曲の残り時間**を表示します。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると **"--- : --"** と表示されます。

MD のグループ再生

MD の曲がグループ登録（→76）されているとき、グループ内の曲だけを再生します。
停止中にリモコンを使って操作します。

MD ▶/❚❚ キーを押して入力切換を "MD" にする

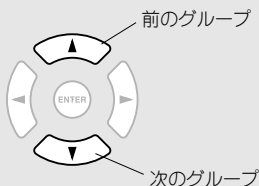
❶ 再生中のとき STOP■ キーを押す

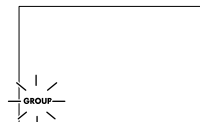
STOP AUTO/MONO

❷ P. MODE キーを押して、表示部の "GROUP" を点灯させる

❸ GROUP SEARCH キーを押す

● "GROUP" 表示が点滅します。

❹ カーソルキー（▲▼）を押して、再生するグループを選ぶ

❺ ENTER キーを押す

❻ MD▶/❚❚ キーを押す

● 選んだグループの曲の再生が始まります。
● グループ内の曲の再生が終わると、停止します。
● リピート再生（→64）と組み合わせると、グループ再生を繰り返すことができます。
● ランダム再生（→63）と組み合わせると、グループ内の曲だけをランダムに再生することができます。

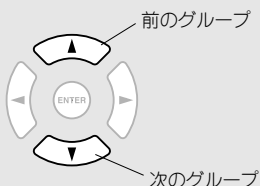
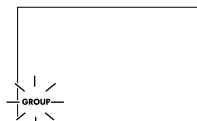
グループ再生中に他のグループを選ぶとき

❶ STOP■(ストップ)キーを押して、再生を停止する。

❷ GROUP(グループ) SEARCH(サーチ)キーを押す。

● "GROUP(グループ)"表示が点滅します。

❸ カーソルキー（▲▼）を押して、グループを選びます。

❹ ENTER(エンター)キーを押す

❺ MD▶/❚❚キーを押す

● 選んだグループの最初の曲の再生が始まります。

グループ再生を解除する

停止中に、P. MODE(プレイモード)キーを2回押して"GROUP(グループ)"表示を消灯させます。

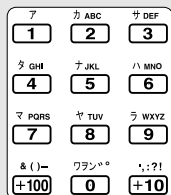
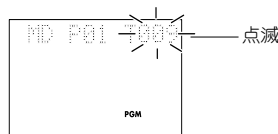
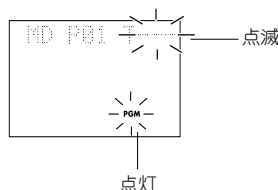
MD の曲順を並べ替えて聞く（MD のプログラム再生）

好きな曲を好きな曲順に並べ替えてプログラムし、聞くことができます。
停止中にリモコンを使って操作します。

MD ▶/II キーを押して入力切換を "MD" にする

❶ 再生中のとき STOP■（ストップ）キーを押す

❷ P. MODE（プレイモード）キーを押して、表示部の "PGM"（プログラム）を点灯させる

❸ 数字キーを使って曲番号を選ぶ
曲番号が点滅中に手順 ❹ に進みます。

数字キーを押す順序は

12 曲目なら .... +10、2
20 曲目なら .... +10、+10、0
120 曲目なら .... +100、+10、+10、0

❹ SET（セット）キーを押す

- 32曲まで選べます。"PGM FULL"（プログラム フル）と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

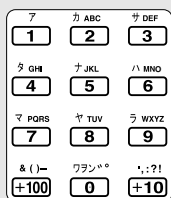
❺ 手順 ❸ と ❹ の操作を繰り返す

❻ MD▶/II キーを押す

DVD/CD ▶/II

- プログラムした曲順に再生が始まります。
- 再生中に |◀◀ または ▶▶| キーを押すと、プログラムした順に曲の飛び越しができます。|◀◀ キーを 1 回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
- MD のリピート再生（→64）と組み合わせると、プログラム再生を繰り返すことができます。

曲を追加するには

❶ 停止中に数字キーで追加したい曲番号を選ぶ
曲番号が点滅中に手順 ❷ に進みます。

- 選んだ曲番号が点滅表示されます。

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10、2
40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
123曲目なら .... +100、+10、+10、3

❷ SET（セット）キーを押す

- 選んだ曲がプログラムの最後に追加されます。
- 32曲まで選べます。**"PGM FULL"**（プログラム フル）と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

プログラムした曲を取り消すには

リモコンのみ

停止中に CLEAR/DEL.（クリアー/デリート）キーを押す

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

リモコンのみ

停止中に P. MODE（プレイモード）キーを押す

- **"PGM"**（プログラム）表示が消灯し、プログラム再生のモードが解除され、プログラムした内容が全て消去されます。
- 本体の **MD▲** キーを押して MD を取り出すか、**POWER⏻**（パワー）キーを押して電源をオフ（スタンバイ状態）にしたときも、プログラム再生が解除され、プログラムした内容が全て消去されます。

MD の曲順を順不同に楽しむ（MD のランダム再生）

毎回曲がランダム（無作為）に選曲されます。

- プログラム再生モードのときは、ランダム再生はできません。解除してから操作してください。→62
- リモコンを使って操作します。

MD ▶/❚❚ キーを押して入力切換を "MD" にする

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確認する

- "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中にP. MODE（プレイモード）キーを押して消灯さます。

❷ RANDOM（ランダム）キーを押す

- "RANDOM"（ランダム）表示が点灯し、ランダム再生が始まります。
- 全曲の再生が１回終わると停止します。
- 停止すると、ランダム再生は解除されます。
- ＭＤのグループ再生（→59）の操作をしてからRANDOM（ランダム）キーを押すと、グループ内の曲だけをランダムに再生することができます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶❙ キーを押す

- ❙◀◀キーを１回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

STOP（ストップ）■ キーを押す

- "RANDOM"（ランダム）表示が消灯します。

ランダムリピート再生する

ランダム再生中に REPEAT（リピート）キーを押す

- 全曲のランダム再生が繰り返されます。

繰り返し再生する（MD のリピート再生）

お気に入りの曲を繰り返し再生することができます。
リモコンを使って操作します。

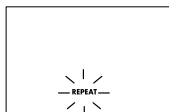
MD ▶/❚❚ キーを押して入力切換を "MD" にする

REPEAT（リピート）キーを押してリピートモードを選ぶ

REPEAT（リピート）キーを押すたびに次のように変わります。

"REPEAT ONE"（リピート ワン）（1 曲リピート）：再生中の曲だけを繰り返します。

- プログラム再生しているときは、"REPEAT ONE"（リピート ワン）は選べません。

"REPEAT"（リピート）（全曲リピート）：MD の全曲を繰り返します。グループ再生のときは、グループ内の曲を繰り返します。プログラム再生のときは、プログラムした全ての曲を繰り返します。

解除（消灯）：リピート再生を解除します。

POINT

1 曲だけ繰り返し再生するとき、あらかじめ数字キーまたは ❙◀◀、▶▶❙ キーを使って曲を選んで再生しておくと、簡単にその曲だけの繰り返し再生ができます。

リピート再生をやめるには

REPEAT（リピート）キーを押して表示部のリピート表示を消灯させ、リピートモードを解除します。

- STOP（ストップ）■キーを押して再生を停止したときは、リピートモードは解除されません。

MDに録音する

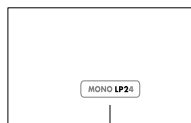
MDに録音する前に

録音モードについて（MDLP）

本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています（MDLP対応）。
録音モードにはステレオ録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音、モノラル長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音源（ソース）に使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させることもできます。

録音モードの種類

ステレオ録音（STEREO（ステレオ））：標準のステレオ録音です。80分ディスクで最大80分の録音ができます。
ステレオ2倍長時間録音（LP2）：音声はステレオで録音されます。80分ディスクで最大160分の録音ができます。
ステレオ4倍長時間録音（LP4）：音声はステレオで録音されます。80分ディスクで最大320分の録音ができます。
モノラル長時間録音（MONO（モノラル））：音声はモノラルで録音されます。80分ディスクで最大160分の録音ができます。

録音モードは、表示部に表示されます。

録音モード表示

スタンプ（STAMP（スタンプ））機能

本機でステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲の曲タイトルの始めの部分に"LP："を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に"LP："が表示されます。"LP："は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、表示されます。
本機では、スタンプ（STAMP（スタンプ））機能のオン（「LP：」をつける）またはオフ（「LP：」をつけない）の設定ができます。
初期設定は"ON（オン）"になっています。
設定の方法は→68をご覧ください。

POINT

- スタンプ（STAMP（スタンプ））機能で自動的に付く"LP："も文字数に含まれます。
- MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。

MDLPに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間録音（MDLP）に対応していない機器で、ステレオ長時間録音した曲を再生すると、再生状態にはなりますが音は出ません。ステレオ録音またはモノラル録音された曲とステレオ長時間録音された曲が混在するMDを、MDLPに対応していない機器で再生するとステレオ録音またはモノラル録音された曲だけが音が出ます。このような場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、突然大きな音が出ることになります。音量の上げすぎに注意してください。

グループ録音

MD O.T.E.（ワンタッチエディット）録音（→72 ～ →75 ディスクの全曲をMDに録音する場合のみ）をする前にあらかじめ設定しておくと、1回の録音を1つのグループとして録音することができます。
1枚のMDには最大99のグループを登録することができます。
初期設定は"ON（オン）"になっています。
設定の方法は →69 をご覧ください。

POINT

- グループ録音の設定をしていても、すでに99グループ登録されているときは、グループは追加されません。
- 録音した後に編集機能を使って、グループを登録することができます。→76

CDの4倍速録音

本機では、CDをMDに録音するときに4倍速で録音することができます。→72

録音する曲によっては、その曲の4倍速録音を始めてから74分以内に同じ曲の4倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲4倍速録音ができないことがあります。
このような場合、再び4倍速で録音できるまでの時間が表示部に表示されます。

Wait 74min.

続けて録音したいときは、通常速度で録音してください。

CDの状態によっては、音飛びが起きたり、MDにノイズが録音されたり、不要な曲ができたりすることがあります。このような場合は、通常速度で録音してください。

CDの録音形式（デジタル／アナログ）

CDの録音形式の設定を必要に応じてデジタル録音またはアナログ録音に切り換えることができます。
初期設定ではデジタル録音に設定されていますが、SCMS（→110）などでデジタル録音できないCDを録音するとき、アナログ録音に設定すると録音が可能になります。
設定を変更するときは、→68 をご覧ください。

POINT

- CDの4倍速録音をするときは、デジタル録音に設定してください。
- 音楽CD以外のディスク（DVDビデオ、ビデオCD、MP3/WMA）のときは、設定にかかわらずアナログで録音されます。

録音レベルについて

カセットデッキなどの外部機器の音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合、適正な録音レベルで録音されない場合があります。このような場合は、あらかじめ録音レベルの調整を行なってから録音します。
設定方法は →69 をご覧ください。

トラックマークについて

MDでは曲の頭にトラックマークがつき、このトラックマークとトラックマークの間が曲とみなされます。
本機では、このトラックマークを自動で付ける"AUTO(オート)"モードと録音中にMD EDIT(エディット)キーを押してトラックマークをつける"MANUAL(マニュアル)"モードがあります。
初期設定は"AUTO(オート)"モードになっています。
トラックマークのモード変更するときは、→68 をご覧ください。

"AUTO(オート)"モード　：DVDビデオ音声やCDのアナログ録音では、曲の変わり目に合わせてトラックマークがつきます。ラジオからの録音では、5分または10分に1回トラックマークがつきます。時間を設定するときは →69 をご覧ください。初期設定は5分です。（MD EDIT(エディット)キーを押してトラックマークをつけることもできます。）。外部機器からの録音では、一定のレベル以下の入力信号が約2秒間続くと、トラックマークがつきます。ただし、ノイズが多いときやライブ演奏の観客のざわめきなどで音が途切れないときは、トラックマークはつきません。また、クラシック音楽などで極端に小さい音が続くときなどは、トラックマークがつくことがあります。CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとにトラックマークをつけます。

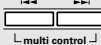
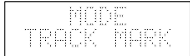
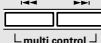
"MANUAL(マニュアル)"モード　：録音中にトラックマークをつけたいところで、リモコンのMD EDIT(エディット)キーを押します。

POINT

短い曲（約10秒以下）が録音する曲に含まれているとき、正しくトラック番号が繰り上がらずに録音される場合があります。

テキストコピー機能

テキストコピー機能がオンのとき、CD-TEXT(テキスト)ディスクなどのテキスト情報が入っているディスクの録音と同時にテキスト情報（曲名）もMDにコピーされます。
初期設定は"OFF(オフ)"になっています。
テキストコピー機能の設定を変更するときは、→69 をご覧ください。

POINT

短い曲（約10秒以下）が録音する曲に含まれているとき、正しくテキスト情報がコピーされない場合があります。

録音時のご注意

- MDの誤消去防止つまみが録音可能な状態になっている録音用MDをお使いください。→110
- 電源オフ（スタンバイ状態）のときは、MDの出し入れはできません。無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。
- "WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音の設定

録音を始める前の設定について説明します。録音を始める前の設定には、"録音モードの設定"、"CDの録音形式の設定"、"トラックマークの設定"、"録音レベルの設定"、"テキストコピー機能の設定"、"グループ録音の設定"、"トラックマークの時間設定"があります。本体を使って設定します。

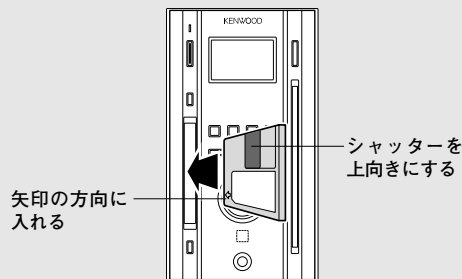
操作手順	録音モードの設定 →65	CDの録音形式の設定 →66	トラックマークの設定 →67
❶ mode キーを押す mode	●いつでも設定できます。	●CDが入っていて、音源（ソース）が"DVD/CD"のとき設定できます。	●"CD → MD analog"のとき設定できます。
❷ multi control キー（⏮、⏭）を押してモードを選び、setキーを押す ⏮ ⏭ └multi control┘ ➡ set demo	"REC MODE"を選ぶ MODE REC MODE	"REC INPUT"を選ぶ MODE REC INPUT ●"DIGITAL"表示が点滅します。	"TRACK MARK"を選ぶ MODE TRACK MARK
❸ multi control キー（⏮、⏭）を押してモードを選び、setキーを押す ⏮ ⏭ └multi control┘ ➡ set demo	お好みの録音モードを選ぶ "LP2"：ステレオ2倍長時間録音 "LP4"：ステレオ4倍長時間録音 "STEREO"：ステレオ録音（初期設定） "MONO"：モノラル長時間録音	"CD → MD digital"または"CD → MD analog"を選ぶ "CD → MD digital"：デジタル録音をするとき（初期設定） "CD → MD analog"：アナログ録音をするとき ●"CD → MD digital"を選んだとき、"DIGITAL"表示が点灯します。	"AUTO"または"MANUAL"を選ぶ "AUTO"：自動でトラックマークをつけるとき（初期設定） "MANUAL"：リモコンのMD EDITキーを押してトラックマークをつけるとき
❹ multi control キー（⏮、⏭）を押してモードを選び、setキーを押す ⏮ ⏭ └multi control┘ ➡ set demo	録音モードが"LP2"または"LP4"のとき設定できます。→65 LPスタンプ機能の"ON"または"OFF"を選ぶ "ON"：曲タイトルの頭に"LP："をつけるとき（初期設定） "OFF"：曲タイトルの頭に"LP："をつけないとき ⬇ 設定前の表示に戻り、設定が終了します。	⬇ 設定前の表示に戻り、設定が終了します。	⬇ 設定前の表示に戻り、設定が終了します。

録音レベルの設定 →67	テキストコピー機能の設定 →67	グループ録音の設定 →66	トラックマークの時間設定 →67
●いつでも設定できます。	● いつでも設定できます。	● いつでも設定できます。	●音源（ソース）が"TUNER"のとき設定できます。
"REC LEVEL" を選ぶ MODE REC LEVEL	**"TEXT COPY" を選ぶ** MODE TEXT COPY	**"GROUP MAKE" を選ぶ** MODE GROUP MAKE	**"AUTO MARK" を選ぶ** MODE AUTO MARK
●−∞、−11〜＋12の範囲で調整する REC LEVEL -3 ときどき点灯するように調節します。	**"ON" または "OFF" を選ぶ** **"ON"**：CD-TEXT の文字情報を録音と同時に MD にコピーするとき **"OFF"**：CD-TEXT の文字情報を録音と同時に MD にコピーしないとき（初期設定）	**グループ録音の "ON" または "OFF" を選ぶ** **"ON"**：グループ録音するとき（初期設定） **"OFF"**：グループ録音しないとき	**"5 min." または "10 min." を選ぶ** **"5 min."**：5 分に 1 回トラックマークを付けるとき（初期設定） **"10 min."**：10 分に 1 回トラックマークをつけるとき
↓ **設定前の表示に戻り、設定が終了します。**	↓ **設定前の表示に戻り、設定が終了します。**	↓ **設定前の表示に戻り、設定が終了します。**	↓ **設定前の表示に戻り、設定が終了します。**
POINT アナログ録音時、AUX 入力レベル調整が必要な場合があります。→26			

MD に録音する（基本操作）

あらかじめ必要な設定をしてから、録音してください。
設定方法は → 68 , → 69 をご覧ください。

本体のみ

❶ 録音用MDを入れる

❷ 録音するソース（音源）を選ぶ

CD（DVD、ビデオCD、MP3/WMA）：
録音するディスクを入れ、**DVD/CD▶/II**キーを押して一時停止状態にする

ラジオ：
TUNER FM/AM（チューナー）キーを押し、録音する放送局を受信する

AUX（外部アナログ機器）：
AUXキーを押して**"AUX"**を選ぶ

❸ rec（レコーディング）キーを押す

- 表示部の**"REC"**（レコーディング）が点滅し、録音一時停止状態になります。
- リモコンの**REC**（レコーディング）キーでも操作できます。

❹ 録音するソース（音源）の準備ができたらもう一度rec（レコーディング）キーを押す

- リモコンの**REC**（レコーディング）キーでも操作できます。

❺ 録音するソース（音源）機器の再生を始める

- 録音が始まります。
- DVD/CD の音を録音するときは、**DVD/CD▶/II** キーを押して再生を始めます。

録音を一時停止する

- 表示部の **"REC"** が点滅し、録音一時停止状態になります。
- 録音を再開するときは、**MD▶/⏸** キーまたは **rec**（レコーディング）キーを押します。

録音を停止する

- DVD/CDの音を録音しているときは、DVD/CDも停止します（シンクロ機能）。

CDの録音したいところからMDにシンクロ録音する

CDの録音を始めたいところから、CDの再生とMDの録音が同時に始まるシンクロ録音します。

本体のみ

❶ 録音用MDを入れる

❷ 録音するCDを入れる

❸ DVD/CD▶/⏸キーを押し、録音を始めたいところで一時停止にする

DVD/CD ►/⏸

❹ rec（レコーディング） キーを押す

rec

- 表示部の **"REC"**（レコーディング） が点滅し、録音一時停止状態になります。
- リモコンの **REC**（レコーディング） キーでも操作できます。

❺ DVD/CD▶/⏸ キーを押す

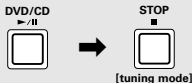
DVD/CD ►/⏸

- CDの再生とMDの録音が同時に始まります（シンクロ録音）。
- CDの最後の曲の録音が終わると、CDとMDが停止します。

O.T.E.機能を使ってCDの4倍速録音をする

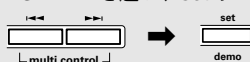
CDの曲をMDに4倍速で録音します。通常の録音の1/4の時間で録音することができます。

- CD以外のディスクは4倍速で録音することはできません。
- CDを4倍速で録音するときは、CDの録音形式をデジタル録音に設定してください →68。必要に合わせて、他の録音の設定を行ってください。→68, →69
- 4倍速録音のときは、スピーカーから音は出ません。
- O.T.E.機能を使ってCDを通常速度で録音したいときは、手順❺で"NORMAL"を選んでください。
- 本体を使って操作します。

1枚のCDを4倍速録音する

❶ 録音用MDと録音するCDを入れる

❷ DVD/CD►/IIキーを押してから、STOP■キーを押す

❸ modeキーを押す

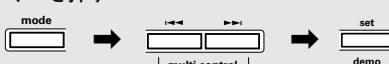
❹ multi controlキー(⏮、⏭)を押して、"O.T.E. SPEED"を選び、setキーを押す

❺ multi controlキー(⏮、⏭)を押して、"HIGH "を選び、setキーを押す

multi controlキー(⏮、⏭)を押すと、次のように切り換わります。

- HIGH：4倍速録音するとき選びます。
- NORMAL：通常速度で録音するとき選びます。

❻ multi controlキー(⏮、⏭)を押して、MELODY "ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- ON：録音が終わると、メロディが鳴ってお知らせします。
- OFF：メロディは鳴りません。

❼ modeキーを押してからmulti controlキー(⏮、⏭)で"O.T.E. START"を選び、setキーを押す

- CDの再生とMDの録音が同時に始まります。

- CDの最後の曲を録音すると、CDは停止状態になります。
- CDまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

CDの1曲を4倍速録音する

❶ 録音用MDと録音するCDを入れる

❷ DVD/CD►/IIキーを押してから、STOP■キーを押す

❸ modeキーを押す

❹ multi controlキー(⏮、⏭)を押して、"O.T.E. SPEED"を選び、setキーを押す

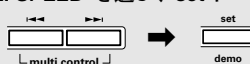
❺ multi controlキー(⏮、⏭)を押して、"HIGH "を選び、setキーを押す

multi controlキー(⏮、⏭)を押すと、次のように切り換わります。

- HIGH：4倍速録音するとき選びます。
- NORMAL：通常速度で録音するとき選びます。

❻ multi controlキー(⏮、⏭)を押して、MELODY "ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

- ON：録音が終わると、メロディが鳴ってお知らせします。
- OFF：メロディは鳴りません。

❼ 録音したい曲を再生する

❽ modeキーを押してからmulti controlキー(⏮、⏭)で"O.T.E. START"を選び、setキーを押す

- 再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

- 1曲録音が終了すると、CDは次の曲の始めで一時停止状態になります。
- CDまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

CDのプログラム再生を4倍速録音する

❶ 録音用MDを入れる

❷ 録音するCDを入れる

❸ プログラム再生の操作をし、停止状態にする

- プログラムの方法は、→40をご覧ください。

❹ modeキーを押す

mode

❺ multi controlキー(|◀◀、▶▶|)を押して、"O.T.E. SPEED"を選び、setキーを押す

❻ multi controlキー(|◀◀、▶▶|)を押して、"HIGH "を選び、setキーを押す

multi controlキー(|◀◀、▶▶|)を押すと、次のように切り換わります。

HIGH：4倍速録音するとき選びます。
NORMAL：通常速度で録音するとき選びます。

❼ multi controlキー(|◀◀、▶▶|)を押して、"MELODY" "ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

ON：録音が終わると、メロディが鳴ってお知らせします。
OFF：メロディは鳴りません。

❽ modeキーを押してからmulti controlキー(|◀◀、▶▶|)で"O.T.E. START"を選び、setキーを押す

- プログラム録音が始まります。

- プログラム録音が終了すると、CDは停止状態になります。
- CDまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

CDを4倍速録音したとき、74分以内に再度同じ曲またはCDの録音ができない場合があります。→66
このようなときは、通常速度で録音してください。

ワンタッチエディット
O.T.E. 機能を使ってディスクを録音する

O.T.E. 機能を使って、CD、ビデオ CD、MP3/WMA のディスクを録音します。

- DVD ビデオ / ビデオ CD の音声や、MP3/WMA ディスクは、CD の録音形式の設定に関わらず、アナログで録音されます。
- ビデオ CD の音声を録音するときは、P.B.C. をオフにします。➡53
- O.T.E. 機能による DVD ビデオ音声の録音は、一曲録音になります。ディスクによっては、O.T.E. 機能による録音ができない場合があります。
- 本体を使って操作します。

❶ 録音用 MD を入れる

- 必要に合わせて、録音の設定を行ってください。➡68, ➡69

❷ 録音するディスクを入れ、ディスクの準備をする

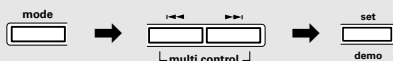
1 枚のディスクを録音するとき
- DVD/CD▶/❚❚ キーを押してから STOP■ キーを押して停止状態にします。

CD とビデオ CD のプログラム再生を録音するとき
- プログラム操作をし、停止状態にします。
  プログラムの方法は、➡40 をご覧ください。

❸ mode キーを押す

mode

❹ multi control キー（⏮、⏭）を押して、"O.T.E. SPEED" を選び、set キーを押す

❺ multi control キー（⏮、⏭）を押して、"NORMAL " を選び、set キーを押す

- DVD、ビデオ CD、MP3/WMA のディスクは、"HIGH" は選べません。

1 曲録音をするとき
- DVD/CD▶/❚❚ キーを押して、録音する曲を再生します。
- ランダム再生中は、1 曲録音できません。

❻ mode キーを押してから multi control キー（⏮、⏭）で "O.T.E. START" を選び、set キーを押す

- ディスクの再生と MD の録音が同時に始まります。
- 1枚のディスクの録音が終わると、ディスクは停止状態に、一曲録音が終わると、ディスクは次の曲の始めで一時停止状態になります。
  DVD ビデオの場合（1 曲録音）、MD は録音を停止し、ディスクは待機状態または再生を続けます。
- ディスクまたは MD のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

リモコンのO.T.E.（ワンタッチエディット）キーを使って簡単に録音する

リモコンのO.T.E.（ワンタッチエディット）を押すだけで簡単にディスクを録音することができます。

- ビデオ CD の音声を録音するときは、P.B.C. をオフにします。→53

❶ 録音用 MD を入れる

- 必要に合わせて、録音の設定を行ってください。→68, →69
- あらかじめ録音速度（"HIGH（ハイ）"または"NORMAL（ノーマル）"）を選んでおきます。→72 ❸〜❻

❷ 録音するディスクを入れ、ディスクの準備をする

1 枚のディスクを録音するとき
- DVD/CD▶/❚❚キーを押してから STOP（ストップ）■キーを押して停止状態にします。

CD とビデオ CD のプログラム再生を録音するとき
- プログラム操作をし、停止状態にします。
  プログラムの方法は、→40 をご覧ください。

1 曲録音をするとき
- DVD/CD▶/❚❚ キーを押して、録音する曲を再生します。
- ランダム再生中は、1 曲録音できません。

❸ リモコンの O.T.E.（ワンタッチエディット） キーを押す

- ディスクの再生と MD の録音が同時に始まります。
- 1枚のディスクの録音が終わると、ディスクは停止状態に、一曲録音が終わると、ディスクは次の曲の始めで一時停止状態になります。
  DVD ビデオの場合（1 曲録音）、MD は録音を停止し、ディスクは待機状態または再生を続けます。
- ディスクまたは MD のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

MP3/WMA のフォルダー録音をするとき

MP3/WMAのフォルダー録音をするときは、以下の録音操作をします。上記 " リモコンの O.T.E.（ワンタッチエディット） キーを使って簡単に録音する"の手順❷で次の操作をしてから、手順 ❸ の操作をしてください。

❶ 録音するディスクが停止していることを確認する

- 再生中は、 STOP（ストップ）■ キーを押して停止させます。

❷ DIRECTORY（ディレクトリー）キーを押し、カーソルキー（▲ ▼）を押して録音するフォルダーを選ぶ

MENU/P.B.C.
DIRECTORY

POINT

- 選んだフォルダーの直下のファイルが録音されます。下位フォルダは録音されません。
- JPEGファイルが混在している場合は、JPEGファイルはスキップされます。

MDの編集機能

市販の録音用MDを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのMDは編集できません。

POINT 編集をするときは、MDの誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。→110

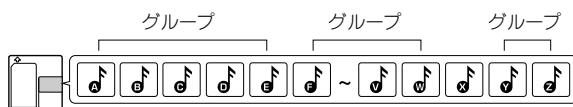
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。→115

編集の種類について

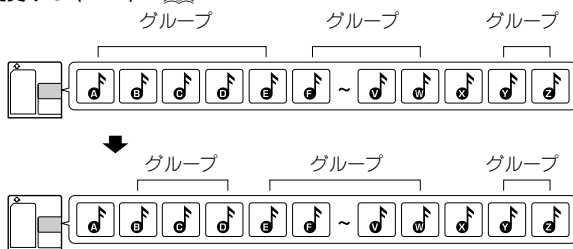
MDの編集には、大きく分けてグループ編集とトラック（曲）編集があります。

グループ編集

グループを登録する（START） →79

- 1曲または連続した曲番号の曲をグループとして登録することができます。（最大99グループ）

グループを解除する（CANCEL） →80

- 登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

グループの範囲を変更する（EDIT） →81

- グループ登録した曲の範囲を変更することができます。

POINT

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- グループ登録済の曲を他のグループに登録しなおすときは、次のいずれかの操作で、その曲をいったんグループ登録されていない状態に戻してください。
  グループを解除する →80
  グループの範囲を変更する →81

トラック（曲）編集

曲順の入れ替え

曲順を1曲ずつ入れ替える（MOVE）→ 83

曲の分割と結合

曲を分ける（DIVIDE）→ 85

曲をつなぐ（COMBINE）→ 86

曲の消去

1曲消す（ERASE）→ 87

全曲消す（ALL ERASE）→ 87

MD の編集のご注意

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

POINT

- グループ登録したMDのグループ情報は、ディスクタイトル情報を書き込む場所に記録されます。グループ編集・登録されたMDをグループ機能に対応していないMD機器で再生すると、ディスクタイトル表示にグループ管理のための情報（数字・記号）が表示されます。
- グループ機能に対応した他のMD機器でグループ編集・登録されたMDを本機で使用すると、正しく動作しないことがあります。
- MD に入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。
- スタンプ（STAMP）機能で自動的に付く **"LP："** も文字数に含まれます。

グループ編集の操作

グループ編集の基本操作手順

- 編集するMDを入れMD▶/❚❚キーを押して入力切換を"MD"にします。停止中にリモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、グループ編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→60、→62）してから操作してください。

❶ MD EDITキーを押す

MD EDIT

- 操作を途中で止めるときは、MD EDITキーを押します。

❷ ⏮または⏭キーを押して"GROUP"を選ぶ

押すたびに切り換わります。

- TRACK
- GROUP
- CANCEL

MD EDIT
GROUP

❸ SETキーを押す

❹ ⏮または⏭キーを押してグループ編集のモードを選び、SETキーを押す

⏮または⏭キーを押すたびに切り換わります。

- START：グループ登録するとき選びます。→79
- CANCEL：グループ解除するとき選びます。→80
- EDIT：グループの範囲を変えるとき選びます。→81

- グループ編集ができない条件にある編集項目は選択できません。

❺ 選んだグループ編集の操作をする

- "グループを登録する"→79の手順❷～❸
  "グループを解除する"→80の手順❷
  "グループの範囲を変更する"→81の手順❷～❹

❻ ENTERキーを押す

- 編集中は"EDIT NOW"と表示され、編集が完了すると"COMPLETE"と表示されます。
- 編集できないときは、"CAN'T EDIT"と表示されます。
- MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、MDを入れた状態まで戻すことができます。MDを取り出す前に操作してください。→88

❼ 本体のMD⏏キーを押して、MDを取り出す

- 編集の情報をMDに書き込んでから、MDが出てきます。
- MDに書き込み中は、"WRITING"が点滅表示されます。

グループを登録する（START）

連続した曲または1曲をグループとして登録します。最大99グループまで登録することができます。

- 編集するMDを入れMD▶/❚❚キーを押して入力切換を"MD"にします。停止中にリモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、グループ編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→60、→62）してから操作してください。

❶ グループ編集のモードを"START"にする →78

① MD EDITキーを押す

② ⏮またはキーを押して"GROUP"を選ぶ

③ SETキーを押す

④ ⏮または⏭キーを押して"START"を選び、SETキーを押す

- 全ての曲がグループ登録されているときは、"START"を選ぶことができません。
- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮または⏭を押してグループ登録したい最初の曲番号を選び、SETキーを押す

- すでにグループに登録されている曲は選べません。

❸ ⏮または⏭を押してグループ登録したい最後の曲番号を選び、SETキーを押す

- 1曲だけグループ登録するときは、最初の曲と最後の曲を同じ曲番号にします。

❹ ENTERキーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →78

❺ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →78

グループを解除する（CANCEL）

1つのグループまたは全てのグループを解除します。

- 編集するMDを入れMD▶/⏸キーを押して入力切換を"MD"にします。停止中にリモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、グループ編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（➡60、➡62）してから操作してください。

❶ グループ編集のモードを"CANCEL"にする ➡78
① MD EDITキーを押す
② ⏮または⏭キーを押して"GROUP"を選ぶ
③ SETキーを押す
④ ⏮または⏭キーを押して"CANCEL"を選び、SETキーを押す

- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮または⏭を押して解除したいグループを選び、SETキーを押す

⏮または⏭キーを押すたびに切り換わります。

CANCEL ALL ：全てのグループの解除
012-020 GROUP 01 ：最初のグループの例
021-058 GROUP 02 ：次のグループの例
:

❸ ENTERキーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" ➡78

❹ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" ➡78

グループの範囲を変更する（EDIT）

登録したグループの曲の範囲を変えます。

- 編集するMDを入れMD▶/IIキーを押して入力切換を"MD"にします。停止中にリモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、グループ編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→60、→62）してから操作してください。

例：曲番号12～20が登録されているグループの範囲を、曲番号3～18が登録されるグループに変更すると、曲番号19と20はどのグループにも登録されていない曲になります。

❶ グループ編集のモードを"EDIT"にする →78
① MD EDITキーを押す
② |◀◀ または ▶▶| キーを押して"GROUP"を選ぶ
③ SETキーを押す
④ |◀◀ または ▶▶| キーを押して"EDIT"を選び、SETキーを押す

- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ |◀◀ または ▶▶| を押して範囲を変更したいグループを選び、SETキーを押す

|◀◀または▶▶|キーを押すたびに次のように変わります。

012-020 GROUP 01 ：最初のグループの例
021-058 GROUP 02 ：次のグループの例
:

❸ |◀◀ または ▶▶| を押してグループの最初の曲番号を変更し、SETキーを押す

- 最初の曲番号を変更しないときは、SETキーのみ押し、手順❹に進みます。
- 他のグループに登録されている曲は選べません。

❹ |◀◀ または ▶▶| を押してグループの最後の曲番号を変更し、SETキーを押す

- 最後の曲番号を変更しないときは、SETキーのみ押し、手順❺に進みます。
- 他のグループに登録されている曲は選べません。

❺ ENTERキーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →78

❻ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

MD ⏏

- "WRITING" →78

MDを操作する

トラック（曲）編集の操作

トラック（曲）編集の基本操作手順

- 編集する MD を入れ MD▶/❚❚ キーを押して入力切換を "MD" にします。リモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、トラック（曲）編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→60、→62）してから操作してください。ランダム再生は解除してください（→63）。
- 操作の途中で 20 秒間放置すると編集は中止されます。

❶ MD EDIT（エディット）キーを押す

- 操作を途中で止めるときは、MD EDIT（エディット）キーを押します。

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "TRACK（トラック）" を選ぶ

押すたび切り換わります。

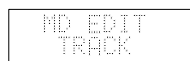
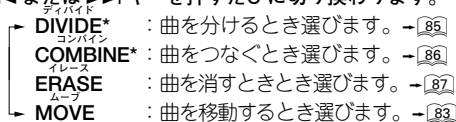
→ TRACK（トラック）
GROUP（グループ）
CANCEL（キャンセル）

MD EDIT
TRACK

❸ SET（セット）キーを押す

❹ |◀◀ または ▶▶| キーを押してトラック（曲）編集のモードを選び、SET（セット）キーを押す

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに切り換わります。

→ DIVIDE*（ディバイド）：曲を分けるとき選びます。→85
COMBINE*（コンバイン）：曲をつなぐとき選びます。→86
ERASE（イレース）：曲を消すときとき選びます。→87
MOVE（ムーブ）：曲を移動するとき選びます。→83

＊停止中は選ぶことができません。再生時のみ編集の操作ができます。

❺ 選んだトラック（曲）編集の操作をする

❻ ENTER（エンター）キーを押す

- 編集中は "EDIT NOW（エディット ナウ）" と表示され、編集が完了すると "COMPLETE（コンプリート）" と表示されます。
- 編集できないときは、"CAN'T EDIT（キャント エディット）" と表示されます。
- MD の編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、MDを入れた状態まで戻すことができます。MDを取り出す前に操作してください。→88

❼ 本体の MD⏏ キーを押して、MD を取り出す

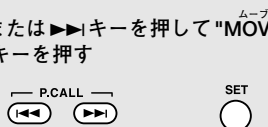
- 編集の情報を MD に書き込んでから、MD が出てきます。
- MDに書き込み中は、"WRITING（ライティング）" が点滅表示されます。

曲を移動する（MOVE）

お好みの位置へ曲を移動します。移動が終わると、全ての曲番号が調整されます。
曲の移動を繰り返して、全曲をお好みの曲順に並べ替えることもできます。
停止中または再生中に操作できます。

- 編集するMDを入れMD▶/II キーを押して入力切換を "MD" にします。リモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、トラック（曲）編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→60、→62）してから操作してください。ランダム再生は解除してください（→63）。

停止中に曲を選んで移動する

❶ トラック（曲）編集のモードを "MOVE" にする →82
① MD EDIT キーを押す
② |◀◀ または ▶▶| キーを押して "TRACK" を選ぶ
③ SET キーを押す
④ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "MOVE" を選び、SET キーを押す

- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ |◀◀ または ▶▶| を押して移動する曲の曲番号を選び、SET キーを押す

❸ |◀◀ または ▶▶| を押して移動先の曲番号を選び、SET キーを押す

例：2曲目を4曲目に移動するとき

```
MOVE
002→004 ok?
```

- 曲をあるグループ内の曲と曲の間に移動したときには、移動した曲はそのグループの曲となります。グループの前後に移動したときには、移動先の1つ前の曲と同じグループになります。1つ前の曲がどのグループにも登録されていないときは、移動した曲もどのグループにも登録されません。

❹ ENTER キーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❺ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →82

再生中の曲を移動する

❶ 移動したい曲が再生中にMD EDIT（エディット）キーを押す

● 編集を始めると、曲が一時停止になります。

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"MOVE"（ムーブ）を選び、SET（セット）キーを押す

❸ |◀◀または▶▶|を押して移動先の曲番号を選び、SET（セット）キーを押す

● 曲をあるグループ内の曲と曲の間に移動したときには、移動した曲はそのグループの曲となります。グループの前後に移動したときには、移動先の1つ前の曲と同じグループになります。1つ前の曲がどのグループにも登録されていないときは、移動した曲もどのグループにも登録されません。

❹ ENTER（エンター）キーを押す

● "EDIT NOW"（エディット ナウ）、"COMPLETE"（コンプリート）、"CAN'T EDIT"（キャント エディット） →82

❺ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

● "WRITING"（ライティング） →82

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中にトラックマークを追加して、曲を分割します。聞きたいところにトラックマークを追加しておくと、簡単に選ぶことができます。
曲を分けると、全ての曲の曲番号が調整されます。

- 編集するMDを入れMD▶/⏸キーを押して入力切換を"MD"にします。再生中にリモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、トラック（曲）編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→60、→62）してから操作してください。ランダム再生は解除してください（→63）。

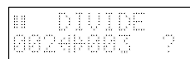
❶ 分割したい曲が再生中に、分割したいところでMD EDITキーを押す

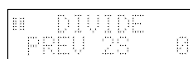
- 分割点が設定されます。
- 約2秒より短い曲に分割できないことがあります。曲の始めからまたは曲の終わりまで２秒以上の範囲でMD EDITキーを押してください。

❷ ⏮または⏭キーを押して"DIVIDE"を選び、SETキーを押す

- 編集を始めると、曲が一時停止になります。

例：分割したい曲が２曲目

❸ SETキーを押す

- 手順❶で設定した分割点から約３秒が繰り返し再生されます。

❹ ⏮または⏭を押して分割点を微調整し、SETキーを押す

- 分割点の微調整は、－31～＋31（約４秒）の範囲で調整ができます。
- 分割点を調整しないときは、SETキーだけ押します。

❺ ENTERキーを押す

- 手順❶～❺を繰り返して、最大254まで曲番号を追加できます。
- 分割してできた曲間には、無音部分はありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。→115
- グループに登録されている曲を分割したときは、分割した曲も同じグループの曲になります。グループに登録されていない曲を分割したときは、分割した曲もグループに登録されていない曲になります。
- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❻ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →82

曲をつなげる（COMBINE）

2つの曲をつなげて1つの曲にします。分割した曲をつなげることもできます。
曲をつなげると、全ての曲の曲番号が調整されます。

- 編集するMDを入れMD▶/⏸キーを押して入力切換を"MD"にします。再生中にリモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、トラック（曲）編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→60、→62）してから操作してください。ランダム再生は解除してください（→63）。
- 録音モードの異なる曲（"LP2"の曲と"LP4"の曲など）は、つなげることができません。
- NetMD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲はつなげることができません。

❶ つなげたい曲が再生中にMD EDITキーを押す

❷ ⏮または⏭キーを押して"COMBINE"を選び、SETキーを押す

- 編集を始めると、曲が一時停止になります。

❸ ⏮または⏭を押してつなぐ曲を選び、SETキーを押す

例：2曲目と3曲目をつなげるとき

❹ ENTERキーを押す

- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。→115
- つないで新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- 手順❶の曲がグループに登録されているときは、つないで新しくできた曲もそのグループに登録されます。手順❶の曲がグループに登録されていないときは、つないで新しくできた曲もグループに登録されていない曲になります。
- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❺ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →82

曲を消す（ERASE）

1曲またはMDの全曲を消します。再生中の曲を消すこともできます。
曲を消すと、その曲以降の曲番号が調整されます。
停止中または再生中に操作できます。

- 編集するMDを入れMD▶/II キーを押して入力切換を "MD" にします。リモコンを使って操作します。
- MDのグループ再生またはプログラム再生モードのときは、トラック（曲）編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→60、→62）してから操作してください。ランダム再生は解除してください（→63）。
- グループ内の全ての曲を消したときは、そのグループも消去されます。

停止中に1曲をまたは全曲を消す

❶ トラック（曲）編集のモードを "ERASE" にする →82
① MD EDIT キーを押す
② ⏮または⏭キーを押して "TRACK" を選ぶ
③ SET キーを押す
④ ⏮または⏭キーを押して "ERASE" を選び、SET キーを押す

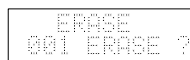
- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して消す曲を選び、SET キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに切り換わります。

ALL ERASE ：MD全曲を消すとき
001 ERASE ：1曲目を消すとき
002 ERASE ：2曲目を消すとき
：

例：1曲目を消すとき

```
   ERASE
001 ERASE ?
```

❸ ENTER キーを押す

- 手順❶～❸を繰り返して、続けて曲を消すこともできます。
- 全曲を消したMDは、ブランクディスクになります。
- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❹ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →82

再生中の曲を消す

❶ 消したい曲が再生中にMD EDITキーを押す

MD EDIT

- 編集を始めると、曲が一時停止になります。

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"ERASE"を選び、SETキーを押す

SET

❸ ENTERキーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" → 82

❹ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" → 82

編集した内容を取り消す（CANCEL）

グループ編集およびトラック（曲）編集した後でもMDを取り出す前に、編集の内容を取り消して入れたときのMDに戻すことができます。

- MDを取り出したり新たに録音をすると、編集した内容の取消しはできません。
- MDを取り出す前、停止中にリモコンを使って操作します。

❶ MD EDITキーを押す

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"CANCEL"を選び、SETキーを押す

- 編集した内容を取り消すことができないとき、"CANCEL"を選択できません。
- 編集した内容を取り消すことができない場合として、
  ① 編集後MDを取り出した
  ② 編集後に録音操作した
  ③"UTOC ERROR"（→117）が表示された後に編集した
  があります。

❸ ENTERキーを押す

- 編集した内容の取り消し中は"EDIT NOW"と表示され、完了すると"COMPLETE"と表示されます。

MDのタイトル入力

英大文字・英小文字・数字・記号・半角カナの半角文字を使ったタイトル入力ができます。

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます（英・数・記号の場合）。カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字分の空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときは、スペースは入力せずに文字の削除（CLEAR/DELETE（クリアー／デリート））を利用してください。

タイトルをつけるときのご注意

- プログラム再生およびランダム再生のときは、タイトルをつけることができません。プログラム再生およびランダム再生のモードを解除してから操作してください。→62,→63
- グループ登録したMDのグループ情報は、記号「/」「-」「;」と数字0～9を使って、ディスクタイトル情報を書き込む場所に記録されます。ディスクタイトル名にこれらの記号を使用することは避けてください。グループ機能に対応したMD機器がグループ情報を誤認識することがあります。
- 録音モード（"LP2"または"LP4"）のスタンプ機能で"LP："をつける設定にしているとき、曲タイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。→68

タイトル（半角文字）をつける

ディスク、グループ、曲を選んでタイトルをつけます。つけたタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

- プログラム再生およびランダム再生のときは、タイトルをつけることができません。プログラム再生およびランダム再生のモードを解除してから操作してください。→62 ,→63
- リモコンを使って操作します。

ディスクや曲にタイトルをつける

❶ タイトルを入力するMDを入れ、MD▶/❚❚キーを押して入力切換を "MD" にする

❷ TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押す

❸ ⏮ または ⏭ キーを押して、ディスクタイトルまたは曲番号を選ぶ

⏮ または ⏭ キーを押すたびに切り換わります。

- DISC（ディスク）……ディスクタイトル
- T001 ……曲番号（キーを押すたびに変わります）
- T002
- ：

❹ SET（セット）キーを押す

グループや曲にタイトルをつける

❶ タイトルを入力するMDを入れ、MD▶/❚❚キーを押して入力切換を "MD" にする
グループ再生モードにし、タイトルをつけるグループを選ぶ（"MDのグループ再生" の手順❶～❹ →59）

❷ TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押す

❸ ⏮ または ⏭ キーを押して、グループタイトルまたは曲番号を選ぶ

- グループ内の曲番号が選べます。

⏮ または ⏭ キーを押すたびに切り換わります。

- G01 ……グループタイトル
- T001 ……曲番号（キーを押すたびに変わります）
- T002
- ：

❹ SET（セット）キーを押す

❺ 文字を入力する
「文字の入力方法」は右ページの説明をご覧ください。

手順❻へ

❻ ENTER キーを押す

- 入力したタイトルが書き込まれます。
- 続けてタイトル入力するときは、次の手順から操作します。

ディスクや曲タイトル

- **"ディスクや曲にタイトルをつける"**→90 の手順 ❸ から操作します。

同じグループ内の曲タイトル

- **"グループや曲にタイトルをつける"**→90 の手順 ❸ から操作します。

別のグループタイトル

- 手順 ❼ の操作のあと、タイトル入力したいグループを選びます（**"MD のグループ再生"**の手順 ❶〜❹ →59）。次に**"グループや曲にタイトルをつける"**→90 の手順 ❷ から操作します。

❼ TITLE INPUT キーを押す

- タイトル入力を終了します。

❽ 本体の MD▲ キーを押して MD を取り出す

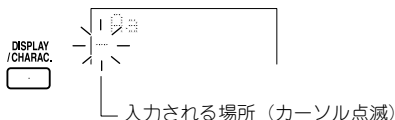
- タイトルが MD に記録されます。

MD ▲

文字入力の方法

❶ CHARAC. キーを押して文字グループを選ぶ

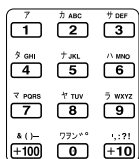
DISPLAY /CHARAC.

入力される場所（カーソル点滅）

押すたびに、次のように文字グループが切り換わります。

英大文字・英小文字、記号

数字、記号

半角カナ

❷ 数字キーを押して文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字が変わります。
例：[2] を押したとき
A→B→C→a→b→c
と変わります。

入力した文字とカーソルが交互に表示される

- スペース（1文字分の空白）を入れるときは、SPACE キーを押します。

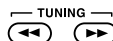
TIME /SPACE

❸ SET キーを押して、文字を確定する

SET

❹ 手順 ❶ 〜 ❸ を繰り返す

カーソルを移動するとき

◀◀ または ▶▶ キーを押す

文字を間違えたとき

CLEAR/DEL. キーを押す

文字を消去するとき

❶ ◀◀または▶▶キーを押して、カーソルを変更したい文字に合わせる

❷ CLEAR/DEL. キーを押して文字を削除する

文字を挿入するとき

❶ ◀◀または▶▶キーを押して、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせる

❷ 文字を入れる

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字のみやアルファベット文字、および各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの数字キーで文字を選ぶとき

グループ / キー	“Aa”	“1 2”	“アァ”
1ア		1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
2カABC	A B C a b c	2	カ キ ク ケ コ
3サDEF	D E F d e f	3	サ シ ス セ ソ
4タGHI	G H I g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
5ナJKL	J K L j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
6ハMNO	M N O m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マ ミ ム メ モ
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
0ワヲン゛゜		0	゛ ゜ ワ ヲ ン
+10記号	’ , : ? ! ; . " _ ` $ (空白)		
+100記号	& ( ) - / + * = < > # % @		

POINT

- 「゛」「゜」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
- 英字の大文字と小文字が表示される順番は入力する前の状態によって入れ替わります。

タイマーを使う

本機には、おやすみタイマー（SLEEP）と2つのプログラムタイマー（"PROG.1" と "PROG.2"）があります。2つのプログラムタイマーは、タイマー再生とタイマー録音のどちらにも使うことができ、1回だけまたは繰り返し動作させせることができます。

おやすみタイマー（SLEEP） →93

設定した時間が経過すると、電源がオフ（スタンバイ状態）になります。

タイマー再生（PROG.1、PROG.2） →94

設定した時間帯に、選んだソース（音源）を再生します。
タイマー再生開始後、一定の音量まで徐々に大きくしていく AI タイマー再生を使うこともできます。

タイマー録音（PROG.1、PROG.2） →96

設定した時間帯に、ラジオまたは外部機器の音を MD に録音します。

おやすみタイマー（SLEEP）

本機で再生中に、リモコンを使って操作します。

SLEEPキーを押して、電源が切れるまでの時間を設定する

SLEEP

押すたび10分ずつ増加していきます。最大90分まで設定できます。

10 → 20 → 30…70 → 80 → 90 →解除

TUNER P01
SLEEP 70

電源が切れるまでの時間

- SLEEPキーを押すと、ディスク挿入口照明が消えます。
- 設定した時間が経過すると、電源がオフ（スタンバイ状態）になります。
- SLEEP キーを 1 回押すと、電源がオフ（スタンバイ状態）になるまでの残り時間が表示されます。

タイマー再生の設定をする

プログラムタイマー（PROG.1、PROG.2）にタイマー再生の設定をします。
1 回だけ動作するタイマー再生の設定、または、毎日または曜日ごとに動作するタイマー再生の設定をすることができます。タイマー再生開始後、一定の音量まで徐々に大きくしていく AI タイマー再生の設定もできます。
本体を使って操作します。

- 本機の時刻を合わせてから（→22）、タイマーを設定してください。
- PROG.1 と PROG.2 はどちらかまたは両方にタイマーの設定ができます。両方にタイマーの設定をするときは、設定する時間帯に 1 分以上の間隔をあけてください。

DVDビデオやビデオCDの場合、メニュー画面でいずれかの操作が行われるまで待機状態になるものがあります。このようなディスクをタイマー再生すると、連続して映像・音声が再生されないのでお勧めできません。

❶ ソース（音源）の準備をする

ディスクをタイマー再生するとき

再生するディスクをディスク挿入口に入れる

- プログラム再生はできません。

MD をタイマー再生するとき

再生する MD を MD 挿入口に入れる

外部機器の音をタイマー再生するとき

タイマー機能つきの機器をお使いください。

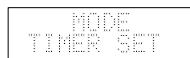
❷ mode キーを押す

mode

- 操作を途中で間違えたときは、mode キーを押して解除し、手順 ❷ からやり直してください。

❸ multi control キー（⏮、⏭）を押して、"TIMER SET" を選び、set キーを押す

MODE
TIMER SET

❹ multi control キー（⏮、⏭）と set キーを使ってタイマー再生の設定をする

multi control キー（⏮、⏭）：押して選びます。
set キー：選んだ内容を確定します。

「① 設定するタイマーを選ぶ → ② タイマーオン／オフの設定 → ③ タイマー動作の設定 → ④ 開始時刻 → ⑤ 終了時刻 → ⑥ タイマーの種類 → ⑦ 音量の設定 → ⑧ 再生するソース（音源）の設定」の順に設定します。

① 設定するタイマーを選ぶ
"PROG.1" または "PROG.2" を選び、set キーを押す

➡

② タイマーオン／オフの設定
"ON" を選び、set キーを押す

- タイマー動作を解除するときに "OFF" を選びます。

③ **タイマー動作の設定**
お好みの動作を選び、set キーを押す

Everyday：毎日動作させるとき ➡ **手順④に進む**

Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday：指定した曜日だけ動作させるとき ➡ **さらにどちらかの動作を選ぶ**
- **ONETIME**：1回だけ動作させるとき
- **EVERY WEEK**：毎日動作させるとき

Mon - Friday： 月曜日から金曜日まで動作させるとき
Tue - Saturday： 火曜日から土曜日まで動作させるとき
Sat, Sunday： 土曜日から日曜日まで動作させるとき
➡ **手順④に進む**

⬇

④ **開始時間の設定**
「時」を設定してから「分」を設定する

➡

⑤ **終了時刻の設定**
「時」を設定してから「分」を設定する

⬇

⑥ **タイマーの種類を選ぶ**
"PLAY" または **"AI PLAY"** を選び、**set** キーを押す

PLAY ：タイマー再生開始後、設定した音量で再生されます。
REC ：タイマー録音のときに選びます。
AI PLAY ：タイマー再生開始後、設定した音量まで徐々に大きくなります。

⬇

⑦ **再生するときの音量を調整する（現在聞いている音量は変わりません）**

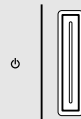
"PLAY"を選んだとき
ここで設定した音量で再生されます。

"AI PLAY"を選んだとき
タイマーの再生が始まると徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

⬇

⑧ **再生するソース（音源）の設定**
"TUNER"、**"DVD/CD"**、**"MD"**、**"AUX"** から選びます。

"TUNER" を選んだとき
続いて再生する放送局のプリセット番号を設定します。プリセット番号の設定が終わると、タイマーの設定が終了します。

"TUNER" 以外を選んだとき
タイマーの設定が終了します。

❺ ⏻（電源）キーを押して、電源をオフ（スタンバイ状態）にする

- **standby/timer**インジケーターが緑色の点灯になります。
- **ONETIME**（1回動作）タイマーを選んだときは、1度タイマー動作を行うと解除されますが、設定内容は残ります。
- タイマーの解除と再設定はリモコンを使って簡単に設定することができます→98。（または手順❷～❹-②の操作をし、手順❹-②で**"OFF"**を選びます。再度タイマーを動作させるときは**"ON"**を選びます。）

タイマー録音の設定をする

プログラムタイマー（PROG.1、PROG.2）にタイマー録音の設定をします。
1回だけ動作するタイマー録音の設定、または、毎日または曜日ごとに動作するタイマー録音の設定をすることができます。本体を使って操作します。

- 本機の時刻を合わせてから（→22）、タイマーを設定してください。
- PROG.1とPROG.2はどちらかまたは両方にタイマーの設定ができます。両方にタイマーの設定をするときは、設定する時間帯に1分以上の間隔をあけてください。

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる

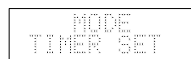
❷ modeキーを押す

mode

- 操作を途中で間違えたときは、modeキーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

❸ multi controlキー（⏮、⏭）を押して、"TIMER SET"を選び、setキーを押す

MODE
TIMER SET

❹ multi controlキー（⏮、⏭）とsetキーを使ってタイマー再生の設定をする

multi controlキー（⏮、⏭）：押して選びます。
setキー：選んだ内容を確定します。

「① 設定するタイマーを選ぶ→② タイマーオン／オフの設定→③ タイマー動作の設定→④ 開始時刻→⑤ 終了時刻→⑥ タイマーの種類→⑦ 音量の設定→⑧ 録音するソース（音源）の設定録音モードの設定」の順に設定します。

① 設定するタイマーを選ぶ
"PROG.1"または"PROG.2"を選び、setキーを押す

➡

② タイマーオン／オフの設定
"ON"を選び、setキーを押す

- タイマー動作を解除するときに"OFF"を選びます。

⬇

③ タイマー動作の設定
お好みの動作を選び、setキーを押す

Everyday：毎日動作させるとき ➡ **手順④に進む**

Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday（日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜）：指定した曜日だけ動作させるとき
➡ さらにどちらかの動作を選ぶ
- **ONETIME**：1回だけ動作させるとき
- **EVERY WEEK**：毎日動作させるとき

Mon - Friday：月曜日から金曜日まで動作させるとき
Tue - Saturday：火曜日から土曜日まで動作させるとき
Sat, Sunday：土曜日から日曜日まで動作させるとき
➡ **手順④に進む**

④ **開始時間の設定**

「時」を設定してから「分」を設定する

- ラジオの放送などをタイマー録音するとき、録音したい番組の放送開始時間にあわせて本機のタイマー開始時間を設定すると、番組の最初の部分が頭切れになります。頭切れしないように録音するときは、本機の録音開始時間を番組の放送開始時間よりも 1 分程度早く設定してください。
  録音開始時の不要部分は、MDの編集機能を使って録音終了後に消去できます。

⑤ **終了時刻の設定**

「時」を設定してから「分」を設定する

⑥ **タイマーの種類を選ぶ**

"REC" を選び、**set** キーを押す

- **PLAY**　：タイマー再生開始後、設定した音量で再生されます。
- **REC**　：タイマー録音のときに選びます。
- **AI PLAY**　：タイマー再生開始後、設定した音量まで徐々に大きくなります。

⑦ **録音するときのモニター音（再生音）を調整する（現在聞いている音量は変わりません）。**

- 留守録をするときや夜中に録音をするときは、音量を **"0"** にしておきます。

⑧ **録音するソース（音源）の設定**

"TUNER"、**"AUX"** から選びます。

"TUNER" を選んだとき

続いて録音する放送局のプリセット番号を設定してから、手順⑨に進みます。

"AUX"を選んだとき

手順⑨に進みます。

⑨ **録音モードの設定**

"STEREO"、**"LP2"**、**"LP4"**、**"MONO"**から選びます。録音モードの設定が終わると、タイマーの設定が終了します。

- 録音モードについては、→65 をご覧ください。

❺ ⏻（電源）キーを押して、電源をオフ（スタンバイ状態）にする

- **standby/timer**インジケーターが緑色の点灯になります。
- **ONETIME**（1回動作）タイマーを選んだときは、1度タイマー動作を行うと解除されますが、設定内容は残ります。
- タイマーの解除と再設定はリモコンを使って簡単に設定することができます→98。（または手順❷〜❹-②の操作をし、手順❹-②で**"OFF"**を選びます。再度タイマーを動作させるときは**"ON"**を選びます。）

タイマーの解除と再設定

一度設定したタイマーの解除と再設定を、リモコンを使って簡単に切り換えることができます。

電源がオンのとき、TIMER（タイマー）キーを押す

TIMER

押すたびに切り換わります。

- 1　PROG.1（プログラム）のタイマーを動作させせます
- 2　PROG.2（プログラム）のタイマーを動作させせます。
- 1 2　PROG.1（プログラム）とPROG.2（プログラム）のタイマーを動作させせます。
- タイマー解除（タイマー表示消灯）：設定されているタイマーを解除します。

- タイマーの設定内容は解除しても残ります。
- 停電や電源プラグをコンセントから抜き差しすると、standby/timer（スタンバイ/タイマー）インジケーターが緑色の点滅になります。このような場合は、もう一度時刻を合わせてから設定をやり直してください。

オートパワーセーブ機能について (Auto Power Save = A.P.S.)

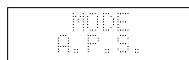
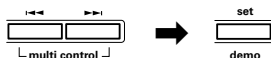
電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分放置すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる機能です。次の操作で、使う（ON）/使わない（OFF）を選びます。

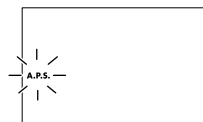
❶ mode（モード）キーを押す

mode

❷ multi control（マルチ コントロール）キー（⏮、⏭）を押して、"A.P.S." を選び、set（セット）キーを押す

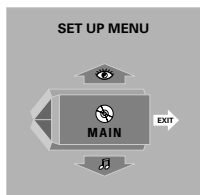
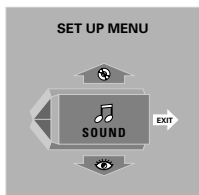
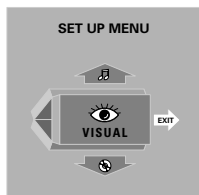
MODE
A.P.S.

❸ multi control（マルチ コントロール）キー（⏮、⏭）を押して、"ON"（オン）または "OFF"（オフ）を選び、set（セット）キーを押す

ON（オン）：オートパワーセーブ機能が働きます。"A.P.S." 表示が点灯します。
OFF（オフ）：オートパワーセーブ機能は働きません。

"ON"（オン）を選んだとき

- ソース（音源）が "TUNER"（チューナー）または "AUX" の場合、音量が "0" のときに限りオートパワーセーブが働きます。
- お買い上げ時のオートパワーセーブ機能は、オフに設定されています。

DVD/CD の設定を変更する

SETUP MENU を使って DVD/CD の設定を変更します。
SETUP MENUには、次の3種類があります。

"MAIN" →101

"SOUND" →103

"VISUAL" →105

視聴制限
DVD ビデオの視聴制限を設定します。（視聴制限に対応したDVDビデオソフトのみ機能します。）

TV アスペクト
接続したテレビに合わせて、ワイド画面（16：9）または従来サイズ画面（4：3）の設定をします。

TV モード
接続したテレビが従来サイズ（4：3）のとき、ワイド画面で収録されているソフトを表示させる方式を設定します。

OSD 位置
OSD（On Screen Display）の表示位置を設定します。

オンスクリーンメッセージ
オンスクリーンメッセージのオン／オフを切り換えます。

IPB 表示
IPB 表示のオン／オフを切り換えます。

デジタル出力 PCMダウンサンプリング変換
96kHz のハイサンプリングレートのデジタル出力するとき、ダウンサンプリング変換する／しないを設定します。

デジタル出力 DOLBY DIGITAL
DOLBY DIGITAL 出力を設定します。

デジタル出力 DTS
DTS 出力を設定します。

デジタル出力 MPEG
MPEG 出力を設定します。

サーチ音声
サーチ中の音声のオン／オフを切り換えます。

ダイナミックレンジコントロール
ダイナミックレンジコントロール機能の切り換えをします。

プレーヤーメニュー言語
本機のメニュー画面などの表示言語を設定します。

ディスクメニュー言語
ディスクのメニュー画面の表示言語を設定します。

音声言語
ディスクの音声言語を設定します。

字幕言語
ディスクの字幕言語を設定します。

スチルモード
スチル画像のブレを押さえるときに選びます。

S 端子モード
本機の**S1/S2ビデオ出力**端子の出力信号を設定します。

SET UP MENUの基本操作

SET UP MENUの基本的な操作方法について説明します。
SET UP MENUの各画面("MAIN"、"SOUND"、"VISUAL")を使って、必要な設定を行ってください。
ソース(音源)をDVD/CDにし、停止中にリモコンを使って操作します。設定を変更した場合、リジューム機能が解除されることがあります。

❶ SET UP キーを押す

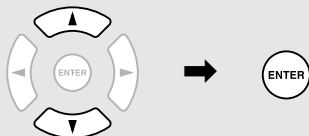
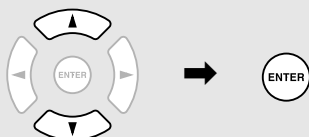
❷ カーソル(▲ ▼) キーを押し変更する画面を選び、ENTER キーを押す

- "SET UP MENU"画面表示中に、RETURNキーを押すか、カーソル(►)キーを押すと設定モードをキャンセルできます。

押すたびに切り換わります。

MAIN → 101
SOUND → 103
VISUAL → 105

❸ カーソル(▲ ▼) キーを押し変更する項目を選び、ENTER キーを押す

- Sub MENU画面表示中に、カーソル(◄)キーを押すと"SET UP MENU"画面に戻ります。
- Sub MENU画面表示中に、カーソル(►)キーを押すと"SET UP MENU"を終了します。

❹ カーソル（▲▼）キーを押して内容を変更し、ENTER キーを押す

- 画面の"↩"を選びENTERキーを押すとSub MENU画面に戻ります。(RETURNキーを押すか、カーソル(◄)キーを押してもSub MENU画面に戻ります)

"MAIN" の設定

接続したテレビに合わせる設定や視聴制限、オンスクリーンディスプレイの位置、オンスクリーンメッセージ 、IPB 表示の設定を行います。
操作方法は、→100 をご覧ください。

設定項目	設定内容
" 視聴制限 " (視聴レベルを変更すると暗証番号入力画面になります。→102) 初期設定値：8 制限なし	**"8 制限なし" :** 成人向け、一般向け、子供向けなどすべてのDVDソフトを再生したいとき選びます。 **"7"〜"1" :** 制限レベルが記録されている DVD ソフト(成人向けや暴力シーンを含むもの)は、その制限レベルに応じて再生を制限します。 **"0 すべて不可":** すべてのDVDソフトの再生を禁止したいとき選びます。たとえば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDソフトの再生を禁止したいときなど。 **"暗証番号変更":** 暗証番号を登録した後、視聴制限の暗証番号を変更するとき選びます。(暗証番号を登録していないときは選べません) **"一時解除":** 暗証番号を登録した後、視聴制限を一時的にやめたいとき選びます。(暗証番号を登録していないときは選べません)
"TV アスペクト " 初期設定値：4：3	**"4 : 3" :** アスペクト比が4:3の従来サイズのテレビと接続したとき選びます。 **"16 : 9" :** アスペクト比が16:9のワイドサイズのテレビと接続するとき選びます。ワイドソフトはフル画面で再生されます。(テレビ側の画面モードをフルに設定してください)
"TV モード " 初期設定値:レターボックス	**"パン & スキャン" :** パン＆スキャン指定されたワイドソフトを、パン＆スキャン画面(両側または片側の切れた画面)で再生します。ただしパン＆スキャン指定のないソフトは、レターボックスで再生します。 **"レターボックス" :** パン＆スキャン指定のないワイドソフトは、レターボックス画面(上下に黒い帯のある画面)で再生します。
"OSD 位置 "(オンスクリーンディスプレイ) 初期設定値：ノーマル	**"ノーマル" :** テレビ画面の上部に表示させます。通常はこの設定を選びます。 **"シネマ" :** テレビ画面のやや下に表示させます。オンスクリーンディスプレイやオンスクリーンメッセージがテレビ画面からはみだしてしまうとき選びます。

設定項目	設定内容
" オンスクリーンメッセージ " 初期設定値：オン	**" オン " :** オンスクリーンメッセージを表示させるときに選んでください。 **" オフ " :** オンスクリーンメッセージを表示させたくないときに選んでください。
"IPB 表示 " 初期設定値：オフ	**" オン " :** IPB 表示をするときに選びます。 **" オフ " :** IPB 表示をしないときに選びます。

暗証番号を入力する

- **プログラム再生モードのとき、" 視聴制限 " を設定することができません。プログラム再生を解除（→41）してから、" 視聴制限 " 操作を行ってください。**

暗証番号を設定していないとき :

❶ **カーソルキー（▲ ▼）を押して、視聴レベル "0" 〜 " 7 " を選び、ENTER キーを押す**

❷ **数字キーで暗証番号を入力し、ENTERキーを押す**

- 数字を間違って入力したときは、**CLEAR/DEL.**キーを押し、最初から入力し直します。

❸ **登録した暗証番号はメモをとり大切に保管してから、ENTER キーを押す**

- 暗証番号が登録されました。

暗証番号を変更するとき :

❶ **カーソルキー（▲ ▼）を押して " 暗証番号変更 " を選び ENTER キーを押す**

❷ **数字キーで現在設定されている暗証番号を入力し、ENTER キーを押す**

- 数字を間違って入力したときは、**CLEAR/DEL.**キーを押し、最初から入力し直します。

❸ **新しい暗証番号4桁を入力し、ENTERキーを押す**

❹ **入力した暗証番号はメモをとり大切に保管してから、ENTER キーを押す**

- 暗証番号が変更されました。

"SOUND" の設定

本機のデジタル音声出力端子に関連システム機器を接続したときの音声出力方式を設定します。
また DVD やビデオ CD のサーチ中の音声出力、ダイナミックレンジコントロール機能の設定を行います。
操作方法は、→100 をご覧ください。

設定項目	設定内容
" デジタル出力 PCM ダウンサンプリング変換 " 初期設定値：オン	**"オン"：**96kHzのハイサンプリングレートのデジタル出力をするとき、48 kHz/16bitのPCMにダウンコンバージョンして出力します。接続したAVアンプが96 kHzのデジタル入力に対応していないとき選びます。 **"オフ"：**ダウンコンバージョンしません。接続したAVアンプが96 kHzのデジタル入力に対応しているとき選びます。ただし、ディスクが96 kHzのデジタル出力を禁止している場合は、ダウンコンバージョンして出力します。
" デジタル出力 DOLBY DIGITAL"　*1 初期設定値：ビットストリーム	**"ビットストリーム"：**ビットストリームで出力します。ドルビーデジタルデコーダーと接続するとき選びます。 **"PCM" :** 48 kHz（2ch.）のPCMに変換をして出力します。ドルビーデジタルデコーダーと接続していないとき選びます。
" デジタル出力 DTS" *1 初期設定値：ビットストリーム	**"ビットストリーム"：**ビットストリームで出力します。DTSデコーダーと接続するとき選びます。 **"オフ"：**デジタル出力を停止します。
"デジタル出力MPEG"*1 初期設定値：ビットストリーム	**"ビットストリーム"：**ビットストリームで出力します。MPEGデコーダーと接続するとき選びます。 **"PCM"：**48 kHz（2ch.）のPCMに変換して出力します。MPEGデコーダーと接続していないとき選びます。

***1** ドルビーデジタルデコーダー /DTS デコーダー /MPEG デコーダー以外の機器を接続するときは **"PCM"** または **" オフ "** に設定してください。**" ビットストリーム "** に設定すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

設定項目	設定内容
" サーチ音声 " 初期設定値：オン	**"オン"**: 早送りの速度が一段階のとき、音声が出力されます。 **"オフ"**:早送り中に音声を出力しないとき選びます。
" ダイナミックレンジコントロール " 初期設定値：ノーマル	**"ワイド"**:ディスクの音声レベルで再生します。 **"ノーマル"**:最大音量と最小音量の差が少なくなります。 **"ミッドナイト"**:最大音量と最小音量の差がさらに少なくなります。深夜など、小音量で再生するとき選んでください。(DOLBY（ドルビー） DIGITAL（デジタル）のみ)

"VISUAL" の設定

本機の"SET UP MENU"画面の表示言語やディスクのメニュー画面の表示言語、音声言語、字幕言語などを変更するとき選びます。(選んだ言語がそのDVDディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。また、ディスクのメニュー画面で各言語設定を行うソフトの場合は、ディスクのメニュー画面で設定にした言語になります。)
また、スチルモード、S 端子モードの設定を行います。
操作方法は →100 をご覧ください。

設定項目	設定内容
" プレーヤーメニュー言語 " 初期設定値：日本語	**"英語" :** 英語で表示するとき選びます。 **"フランス語" :** フランス語で表示するとき選びます。 **"スペイン語" :** スペイン語で表示するとき選びます。 **"ドイツ語" :** ドイツ語で表示するとき選びます。 **"イタリア語" :** イタリア語で表示するとき選びます。 **"日本語" :** 日本語で表示するとき選びます。 **"簡体字中国語" :** 簡体字中国語で表示するとき選びます。 **"繁体字中国語" :** 繁体字中国語で表示するとき選びます。
"ディスクメニュー言語" 初期設定値：日本語	**"英語" :** 英語で表示するとき選びます。 **"日本語" :** 日本語で表示するとき選びます。 **"その他 _ _ _ _":"ディスクの言語コード表"** のコード番号で言語を指定するとき選びます。→107
" 音声言語 " 初期設定値：日本語	**"オリジナル" :** ディスク側で設定されている優先言語で再生するとき選びます。 **"英語" :** 英語で再生するとき選びます。 **"日本語" :** 日本語で再生するとき選びます。 **"その他 _ _ _ _":"ディスクの言語コード表"** のコード番号で言語を指定するとき選びます。→107

設定項目	設定内容
" 字幕言語 " 初期設定値：オート	**"オート" : "音声言語"**の設定に応じて、字幕言語を自動設定するとき選びます。 ● **"音声言語"**で設定した言語で再生されたときは、字幕を表示しません。 ● **"音声言語"**で設定した言語で再生されなかったときは、**"音声言語"**で設定した言語の字幕を表示します。 **"英語" :** 英語字幕を表示します。 **"日本語" :** 日本語字幕を表示します。 **"その他 _ _ _ _" : "ディスクの言語コード表"**のコード番号で言語を指定するとき選びます。→107
" スチルモード " 初期設定値：オート	**"オート" :** フレームスチルまたはフィールドスチルを自動的に切り換えるとき選びます。通常はこの設定にしてください。 **"フレーム" :** スチル映像の画質を良くしたいとき選びます。連続する2つのフィールド（スチル映像）が交互に映し出されます。映像はブレることがあります） **"フィールド" :** スチル映像をブレないようにするとき選びます。（映像情報はフレームの半分になります。画質は荒くなります）
"S 端子モード " 初期設定値：ノーマル	**"ノーマル" :** Sビデオで接続したとき選びます。 Sビデオ接続するときは、本機の**S1/S2 ビデオ出力**端子に接続し、**"ノーマル"**に切り換えてください。 **"S1" :** S1ビデオで接続したとき選びます。 S1ビデオ接続するときは、本機の**S1/S2ビデオ出力**端子に接続し、**"S1"** に切り換えてください。 **"S2" :** S2ビデオで接続したとき選びます。 S2ビデオ接続するときは、本機の**S1/S2ビデオ出力**端子に接続し、**"S2"** に切り換えてください。

ディスクの言語コード表

コード番号	言語
6565	アファル
6566	アブハジア
6570	アフリカーンス
6577	アムハラ
6582	アラビア
6583	アッサム
6588	アイマラ
6590	アゼルバイジャン
6665	バシキール
6669	ベルロシア（白ロシア）
6671	ブルガリア
6672	ビハール
6678	ベンガル（バングラ）
6679	チベット
6682	ブルターニュ
6765	カタロニア
6779	コルシカ
6783	チェコ
6789	ウェールズ
6865	デンマーク
6869	ドイツ
6890	ブータン
6976	ギリシャ
6978	英語
6979	エスペラント
6983	スペイン
6984	エストニア
6985	バスク
7065	ペルシャ
7073	フィンランド
7074	フィジー
7079	フェロー
7082	フランス
7089	フリジア
7165	アイルランド
7168	スコットランド（ゲール）
7176	ガリチア
7178	グアラニー
7185	グジャラト
7265	ハウサ
7273	ヒンディー
7282	クロアチア
7285	ハンガリー
7289	アルメニア
7365	インターリングア
7378	インドネシア
7383	アイスランド

コード番号	言語
7384	イタリア
7387	ヘブライ
7465	日本語
7473	イディッシュ
7487	ジャワ
7565	グルジア
7575	カザフ
7576	グリーンランド
7577	カンボジア
7578	カンナダ
7579	韓国（朝鮮）語
7583	カシミール
7585	クルド
7589	キルギス
7665	ラテン
7678	リンガラ
7679	ラオ
7684	リトアニア
7686	ラトビア（レット）
7771	マダガスカル
7773	マオリ
7775	マケドニア
7776	マラヤーラム
7778	モンゴル
7779	モルダビア
7782	マラッタ
7783	マライ（マレー）
7784	マルタ
7789	ビルマ
7865	ナウル
7869	ネパール
7876	オランダ
7879	ノルウェー
7982	オーリャ
8065	パンジャブ
8076	ポーランド
8083	パトシュ
8084	ポルトガル
8185	ケチュア
8277	レトロマンス
8279	ルーマニア
8285	ロシア
8365	サンスクリット
8368	シンド
8372	セルボクロアチア
8373	シンハラ
8375	スロバキア
8376	スロベニア
8377	サモア

コード番号	言語
8378	ショナ
8379	ソマリ
8381	アルバニア
8382	セルビア
8385	スンダ
8386	スウェーデン
8387	スワヒリ
8465	タミル
8469	テルグ
8471	タジク
8472	タイ
8473	ティグリニア
8475	トルクメン
8476	タガログ
8479	トンガ
8482	トルコ
8484	タタール
8487	トウイ
8575	ウクライナ
8582	ウルドゥー
8590	ウズベク
8673	ベトナム
8679	ヴォラピュック
8779	ウォロフ
8872	コーサ
8979	ヨルバ
9072	中国語
9085	ズールー

知っておきましょう

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。**シンナー**、**ベンジン**、**アルコール**などは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

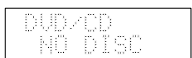
参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ ディスク、MDを取り出す

❷ MD ▶/❚❚ キーを押す

```
MD
 NO DISC
```

❸ DVD/CD ▶/❚❚ キーを押す

❹ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

```
DVD/CD
 NO DISC
```

❺ 数秒間待って、電源をオフにします。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容：

時計表示

電源プラグをコンセントから抜いて、約1日保持しているメモリーの内容：

照明表示部

LCDのバックライトとコントラスト値

アンプ部

電源の状態（オンまたはスタンバイ）、インプットセレクタ、ボリューム値、トーンコントロール値
AUXインプット値、オートパワーセーブの設定

チューナー部

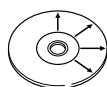
受信バンド、周波数、プリセット放送局、AUTO（オート）/MONO（モノラル）の設定、タイマーの設定内容

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

シール類

糊のベタつき

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

透明なディスクについて

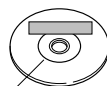
本機は、CD を光学的に検知して内部へ引き込むため、透明な CD は使用することはできません。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク、紙やテープ等が貼ってあるディスク、汚れたディスク、円形以外の形をしたディスク等は絶対に使用しないでください。読みとりエラーが起きる場合ばかりでなく、プレーヤーの破損、故障の原因になります。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。
シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

CD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWディスクについて

レーベル面に印刷可能な CD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

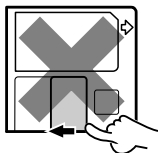
ご参考に

本機は、合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機は、すべての高解像度テレビと互換性があるというわけではないことをご了承ください。そのため、画像がみだれて表示されることがあります。
プログレッシブスキャン（525p順次走査）再生時に問題がありましたら、映像の出力形式を、通常解像度側に切り替えることをお勧めします。
525p DVDプレーヤーとの接続について、ご不明な点は、最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

MDの取り扱いかた

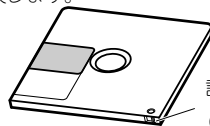
MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない
シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について
極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

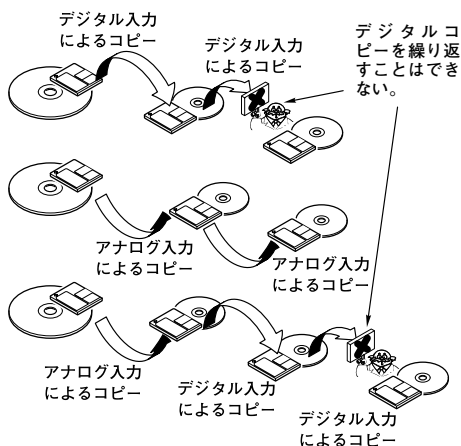
ほこり対策について
本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

お手入れのしかた
定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて
レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ
録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて
ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

MD - Clip データについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話（03）5353-0336（代表）
FAX.（03）5353-0337

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

用語解説

DVD（Digital Versatile Disc）：DVDビデオは、映画ソフトなど映像と音声を大きな記録容量とデジタル信号処理が可能にした高画質・高音質パッケージメディアなどが収録されているディスクです。

ビデオCD（VCD）：動画の収録されているCDです。画像情報を約1/120に、音声情報を約1/6に圧縮することにより、一般の音楽用CDと同じ直径12cmのディスクに、動画および音声を最大約74分間収録できます。

単に再生だけが可能なP.B.C.なしのディスク（バージョン1.1）と、メニューや各種の特殊再生（プレイバックコントロール）が可能な、P.B.C.付き（バージョン2.0）に対応しています。

MPEG（Moving Picture Expert Group）（DVD、ビデオCD）：デジタル画像および音声の圧縮と、復元の国際標準規格とされている方式のことをいいます。

デコーダー：DVDなどに符号化して記録した音声データを通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ダウンミックス：DVDのマルチチャンネルの音声信号を2チャンネルに集約して変換することをいいます。

サンプリング周波数：サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化すること。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といいます。

量子化ビット数：量子化とは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化することです。数値化したときの段階数を量子化ビット数といいます。サンプリング周波数と量子化ビット数が高いほど、源音を忠実に再現できます。

リニアPCM（Pulse Code Modulation）：圧縮処理を用いない音声信号のこと。DVDではディスク容量が格段に多くなり、サンプリング周波数の高いリニアPCM信号を収録できます。

Bitstream（DVD）：ドルビーデジタル、DTS、MPEGなどのいろいろな規格に従ったデータの流れの総称をBitstreamといいます。

ドルビーデジタル：ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ（2ch）はもちろん、5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率良くディスクに収めることができます。

DTS：Digital Theater Systems, Incが開発したデジタルサラウンド方式です。

タイトル／タイトル番号（DVDビデオ）：タイトルとはDVDビデオに記録されている映像や曲の一番大きい単位をいいます。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）に相当します。それぞれのタイトルに順番につけられた番号をタイトル番号といいます。

チャプター／チャプター番号（DVDビデオ）：DVDビデオに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。それぞれのチャプターに順番につけられた番号をチャプター番号といいます。

トラック／トラック番号（ビデオCD、CD）：トラックとはディスクに記録されている内容の区切り（「曲」や「章」など）のことです。この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号といいます。一般の音楽用CDでは1曲に1トラックが割り当てられる場合がほとんどですが、ビデオCDの場合、内容的な区切りとトラック番号は、必ずしも対応関係にありません。曲の飛び越しやプログラムなど、音楽用CDで行われる再生は、すべてトラック番号の情報に基づいているため、ビデオCDではこのような再生が不可能な場合があります。

シネマボイス機能（DVD）：ドルビーデジタルサラウンドで収録されたDVDで、セリフが聴き取りにくいときなどに使います。

字幕言語（DVD）：DVDディスクによっては複数の字幕言語が記録されているものがあります。

アングル（DVD）：DVDディスクによっては複数のアングルが記録されているものがあります。

音声言語（DVD）：DVDディスクによっては複数の音声言語が記録されているものがあります。

アスペクト比：テレビ画面に表示される映像の縦横比をいいます。通常のテレビの横：縦の比率は4：3、ワイドテレビは16：9の比率を持っています。

パン＆スキャン（DVD）：アスペクト比16：9で記録された横長の映像を4：3のテレビ画面に映し出すために、画面の一部を切り取り表示し、トリミングすることをいいます。一般にこのパン＆スキャンの切り取り位置は、再生する機器によって一様に定められますが、DVDディスクはこの位置を、ソフト制作者が指定し記録することができます。

レターボックス（DVD）：アスペクト比16：9で記録された横長の映像を4：3のテレビ画面に映し出すために、画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長映像を映し出すことをいいます。

フレーム（DVD/ビデオCD）：動画の1コマ1コマのこと。テレビでは、1秒間にNTSC方式では30コマ、PAL方式では25コマの静止画像を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フィールド（DVD/ビデオCD）：1フレームの映像情報を2つに分けたもの。通常のテレビでは、このフィールドを交互に映し出すことで1フレームを構成します。

フレームスチル／フィールドスチル（DVD/ビデオCD）：画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。フレームスチルでは、2フィールドを交互に映し続けるため、画像にブレが生じることがありますが画質は良くなります。フィールドスチルでは、画像情報が半分のため画質は荒くなりますが画面のブレはありません。

IPB表示（DVD）：DVDでの映像方式のMPEG2では、1画面を以下の3つのピクチャータイプに分けデジタル信号に符号化しています。

I-ピクチャー（フレーム内符号化）：基準の映像であり、単独で画面を構成します。画質が最もよく、画質を調整する場合はこの静止映像が適しています。

P-ピクチャー（前方向予測符号化）：過去の映像（I-ピクチャーまたはP-ピクチャー）から算出される映像です。

B-ピクチャー（両方向予測符号化）：前後の映像（I-ピクチャーまたはP-ピクチャー）の比較から算出されるもので、映像情報がもっとも少ない画面です。

P.B.C.（Play Back Control）（ビデオCD）：「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場所や情報を階層構造を用いて対話方式で再生する方式をいいます。

OSD（On Screen Display）：OSDとは、テレビ画面にメニューやアイコンなどを表示し、対話方式で操作する方法をいいます。

On Screen Message：操作をしたときにテレビ画面に表示される表示をいいます。

ご参考に

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源プラグをコンセントから抜き、⏻キーを押しながら、差し込み直す。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● **"接続のしかた"**を参照して正しく接続し直す。 →10 ● 音量を上げる。 →23 ● MUTE（ミュート）をオフ（解除）にする。 →23 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く →17 ● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 →10
standby/timer（スタンバイ/タイマー）の表示が赤色に点滅し、音が出ない。	● 使用を中止する。内部的な不具合が発生したことが考えられます。電源を切り、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。
standby/timer（スタンバイ/タイマー）の表示が緑色に点滅する。	● 時刻合わせをやり直す。 →22
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →17 ● 音量を上げる。 →23
スピーカーの片側から音が出ない。	● **"接続のしかた"**を参照して正しく接続し直す。 →10 ● 左右のバランスを調節する。 →23
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● **"時刻合わせ"**を参照して現在時刻をもう一度合わせる。 →22
タイマーが作動しない。	● **"時刻合わせ"**を参照して現在時刻を合わせる。 →22 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →95, →97 ● リモコンのTIMER（タイマー）キーで実行指定する。 →98

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →12 ● 放送バンドを合わせる。 →29 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →29
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、P.CALL（プリセットコール）キーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →27, →30 ● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする。 →27, →30

ご参考に

DVD/ CD プレーヤー部

症　状	処　置
再生がはじまっても、映像が出ない。	● TVなどの入力切換が合っていない、または電源が入っていない。 ● 接続コード類が正しく接続されていない。 →13 ,→14
早送り・早戻しで画像が乱れる。	● 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。故障ではありません。
画質／音質がよくない。	● 接続コード類が正しく接続されていない。→10 ,→11 ,→13 ,→14 ● 雑音源と思われる機器が、そばにある。 ● ディスクに汚れやキズがついている。汚れは拭き取り、ディスクはキズをつけないように大切に扱ってください。 →109 ● 光学レンズが結露している場合があります。このようなときには、本機の電源を切った状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。 →108
再生がはじまるまでに時間がかかる。	● ディスクの種類の検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。
テレビ画面に警告が表示され再生ができない。	● ディスク表面に指紋や汚れがついていると再生映像が乱れたり音飛びをする場合があります。やわらかい布などで、汚れを放射状にふきとってください。 →109 ● ディスクを正しく入れ直してください。 →34 ● 視聴制限または、リージョンコードにより再生できない。 →32 ,→101
画面が乱れる。	● 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットが合っていない。 →32
ビデオ CD のメニュー再生ができない。	● P.B.C. をオフにしているときはメニュー再生できません →53 ● プレイバックコントロール付きのビデオCD以外は、メニュー再生できません。
字幕がでない。	● 字幕の入っていない DVD ディスクは字幕が表示されません。 ● 字幕言語の設定を変える。 →106
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていない DVD ディスクは、言語を切り換えられません。
アングルが切り換えられない。	● 複数のアングルの入っていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。またアングルの記録されていない部分では、アングルを切り換えられません。
視聴制限（Rating（レーティング））が変更できない。	● パスワードを紛失してしまった場合は、初期設定の内容を工場出荷状態に戻してください。 →113
設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。
操作をしたときにテレビ画面にメッセージがでない。	● "オンスクリーンメッセージ" が "オフ" になっている場合は "オン" にします。 →102
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	● 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。
禁止アイコンが表示され、操作を受け付けない。	● DVD やビデオ CD は、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがありますのでソフトに従った操作をしてください。また本機の状態により操作が制限されている場合もあります。→31

ご参考に

症　状	処　置
字幕が欠ける。	● 接続するTVの画面サイズの切り換え／画面の縦方向サイズ調整を確認してください。
テレビ画面に"This type of file can't be decoded."と表示され再生ができない。	● 本機が対応していないJPEGファイルを再生しようとしている。"**本機で再生できるMP3/WMA、JPEG収録ディスクについて**"をご覧ください。 →33
DVD/CD▲キーを押しても、"LOCKED"と表示され、ディスクが出てこない。	● 電源プラグをコンセントから抜き、⏻キーを押しながら、差し込み直す。

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、ディスプレイの録音可能残り時間表示は、"**0:00**"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイの録音可能残り時間表示は、"**0:00**"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2 ● NetMD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲はつなげることができません。
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74分、80分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間"**READING**"が表示されます。 ● 登録されているグループが多いときは、通常よりも長い間"**READING**"が表示されます。
モノラル録音されたMDのとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

＊1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒　LP4モードの場合：48秒）

＊2 STEREO（ステレオ録音モード）、LP2（ステレオ2倍長時間録音モード）、LP4（ステレオ4倍長時間録音モード）、MONO（モノラル録音モード）

＊3 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒LP4モードの場合：8秒）

ご参考に

MD レコーダー部（その他の症状）

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済 MD または再生用 MD を入れる。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能な MD に取り換える。 → 110 ● 入力切換を録音したいソースにする。 → 70
録音レベルが低い。 音がひずむ。（AUX 使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。AUX入力レベルを調節する。 → 26
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
外部アナログ機器からの録音でトラック番号が繰り上がらない、または正しく繰り上がらない。	● AUX 入力レベル（AUX INPUT）を調整する。 → 26 ● トラックマーク（TRACK MARK）を **"MANUAL"**（マニュアル）に設定する。 → 68
グループ登録ができない。	● すでにグループ登録されている曲をグループ登録しようとした。 ● 100 以上のグループを登録することはできません。 ● MD に入力できる制限に近い文字数が入力されている。（**"LP:"** も含む）

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 → 19 ● 操作範囲内で操作する。 → 19

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC（ブランク ディスク）	● 何も録音されていないMDです。
BUFFER OVER（バッファー オーバー）	● 74分以内に201曲以上のCDを倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT（キャント エディット）	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 ● プログラムモードまたはランダム再生のときにMDの編集をしようとしている。プログラムモードまたはランダム再生を解除する。 →62,→63 ● 再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。
UTOC ERROR（エラー）	● UTOC*の内容が異常である。("ALL ERASE"（オール イレース）) を行う。 →87 それができないときは、MDを取り換える。
DISC FULL（ディスク フル）	● 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
MD WRITING（ライティング）	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO TRACKS（ノー トラック）	● 曲は録音されていないが、MDタイトルが書かれている。
PGM FULL（プログラム フル）	● CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 →40,→61
PROTECTED（プロテクテッド）	● MDが"録音禁止"されている。"録音可能"にする。 →110 ● NetMDでチェックアウトした曲を編集しようとしている。
READING（リーディング）	● TOC* 情報を読み込んでいる。
SCMS	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音できません。 →110
TEXT FULL（テキスト フル）	● 1.5Kバイト以上のテキスト情報があるCD TEXT（テキスト）のテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL（タイトル フル）	● 最大文字数の制限を超えて、MDにタイトルを入力しようとしている。 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字（**"LP:"**も含む）までです。
"?"の点滅	● 設定やMDの編集を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。
Wait（ウェイト）	● CD4 倍速録音を始めてから、74 分以内に同じ曲を録音しようとしている。
NO PLAY（ノー プレイ）	● 地域コードが違う DVD ディスクを再生しようとしている。 ● TOC 情報が読めない。 ● 本機で対応していないディスクを再生しようとしている。

* すべてのMDには音声信号以外にTOC（Table of Contents（テーブル オブ コンテンツ））という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC以外に録音用MDに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別途添付）
製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の保有期間
当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について
システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は
「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は
保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理
「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は
保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
- 技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代： 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　）　　－

ケンウッドサービス網 2003年8月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・甲信越			
埼玉サービスセンター	〒362-0032	上尾市日の出3-9-1	☎(048) 775-9730
千葉サービスセンター	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
東京サービスセンター	〒169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
神奈川サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
静岡サービスステーション	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
中部			
名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〒920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

カスタマーサポートセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 933-5133	FAX (045) 933-5553
カスタマーサポートセンター大阪	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8085	FAX (06) 6394-8308

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで
  (各サービス窓口の名称､所在地､電話番号は変更になることがありますのでご了承ください)

定格

本体部 (RMD-ES9DVD)

［アンプ部］

実用最大出力
　フロント出力 ....18 W+18 W（JEITA 6 Ω）
　サラウンド出力 ....6 W+6 W（JEITA 6 Ω）
サブウーファープリアウト .... 2 V / 750 Ω
AUX出力 .... 200 mV / 200 Ω
AUX入力 .... 200 mV / 22 k Ω

［チューナー部］

FMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 76 MHz〜90 MHz
　アンテナインピーダンス ....75 Ω 不平衡型
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz〜1,629 kHz

［MDレコーダー部］

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
音声圧縮方式 .... ATRAC/ATRAC 3

［DVDプレーヤー部］

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
信号方式 .... NTSC
映像出力 ....1 Vp-p（75 Ω）
S映像出力
　Y出力レベル ....1 Vp-p（75 Ω）
　C出力レベル ....0.286 Vp-p（75 Ω）
コンポーネント映像出力 ....（D端子）
　Y信号 ....1 Vp-p（75 Ω）
　C_b信号 ....0.7 Vp-p（75 Ω）
　C_r信号 ....0.7 Vp-p（75 Ω）
デジタル音声出力 .... -21 〜 -15 dBm（波長 660 nm）

［電源部・その他］

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V, 50 Hz / 60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 70 W
待機時消費電力 .... 0.14 W以下
最大外形寸法 .... 幅　：115 mm
高さ：210 mm
奥行：343 mm
質量（重量） .... 5.7 kg（正味）

スピーカー部 (LS-ES9)

［フロントスピーカー部］

形式 ....2 ウェイ 2 スピーカーシステム
防磁設計（JEITA 規格グレード II）
エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
　ウーファー ....80 mm
　ツイーター ....25 mm
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 ....20 W
最大外形寸法 .... 幅　：115 mm
高さ：210 mm
奥行：245 mm
質量（重量） .... 1.9 kg（1 本）

［サラウンドスピーカー部］

形式 ....1 ウェイ 1 スピーカーシステム
防磁設計（JEITA 規格グレード II）
エンクロージャー .... 密閉型
スピーカー構成
　フルレンジ ....50 mm
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 ....10 W
最大外形寸法 .... 幅　：90 mm
高さ　：74 mm
奥行：107 mm
質量（重量） .... 0.4 kg（1 本）

POINT

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水の凍るような）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
　カスタマーサポートセンター　　電話（045）933-5133　FAX（045）933-5553　〒226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2
　カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308　〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。